

令和6年度 第1回静岡市農業振興協議会

日時：令和6年9月13日（金）13時30分～

場所：市役所 清水庁舎3階 313会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 会長あいさつ
- 4 議事

第2次静岡市農業振興計画進行管理

- （1）令和5年度の実績について
- （2）令和6年度の実況等について
- （3）令和7年度の実況予定について

- 5 その他報告事項
- 6 閉会

【配付資料】

- ・名簿
- ・座席表
- ・資料1 第2次静岡市農業振興計画の概要
- ・資料2－1 第2次静岡市農業振興計画の成果指標確認表
- ・資料2－2 第2次静岡市農業振興計画掲載事業
- ・資料3－1 第2次静岡市農業振興計画実施計画
- ・資料3－2 第2次静岡市農業振興計画実施計画の令和6年度重点事業
- ・資料4 令和7年度の実況予定について
- ・参考1 食料・農業・農村基本法の概要
- ・参考2 令和6年度市民アンケート調査結果

令和6年度 第1回静岡市農業振興協議会 名簿

■ 静岡市農業振興協議会委員

所 属	氏 名	職 名	備 考	出 欠
静岡大学	モリタ アキオ 森田 明雄	理事	会長	
清水農業協同組合	イシキリヤマ マコト 石切山 誠	代表理事組合長	副会長	
静岡市農業協同組合	ミツヤマ サダム 三津山 定	代表理事組合長	副会長	
農業者	オダマキ ヨウコ 小田 巻 洋子	静岡市農業協同組合女性部長	新任	
市民公募委員	サトウ マサヒロ 佐藤 誠洋			欠席
静岡市認定農業者協会	スギヤマ コウイチ 杉山 浩一	会長		
しずおか市消費者協会	タケノコ ヒロコ 竹内 光子	会長		
静岡市農業委員会	トクダ マサアキ 徳田 雅亮	会長		
静岡県中部農林事務所	ナカオ ユカ 中尾 穰	所長	新任	

■ 静岡市

所 属	氏 名	職 名	備 考
経済局	オオムラ ヒロシ 大村 博	農林水産統括監	
経済局 農林水産部	オオタ シンジ 太田 伸二	農林水産部長	
経済局 農林水産部	カトウ 浩康 加藤 浩康	中山間地振興担当部長	
経済局 農林水産部 農業政策課	ハナムラ アキヒロ 花村 章弘	課長	
経済局 農林水産部 農地利用課	エンドウ ヨシヒサ 遠藤 能久	課長	
経済局 農林水産部 農地整備課	イシダ ヤスユキ 石田 靖幸	課長	
経済局 農林水産部 中山間地振興課	オカモト ヨシアキ 岡本 嘉章	参与兼課長	
経済局 農林水産部 農業政策課	イシカワ ヨシヒサ 石川 賀久	お茶のまち推進担当課長	
経済局 農林水産部 農業政策課	ミズシマ シンゴ 水嶋 成彦	参事兼係長	
経済局 農林水産部 農業政策課	イシカワ アキヒロ 石川 彰彦	課長補佐兼係長	
経済局 農林水産部 農業政策課	ウサミ マサヒト 宇佐美 正仁	係長	
経済局 農林水産部 農業政策課	オオイシ タカオ 大石 貴夫	係長	
経済局 農林水産部 農業政策課	ナガノ コウダイ 永野 功大	主任主事	
経済局 農林水産部 農業政策課	オカベ ケンイチロウ 岡部 健一郎	主任主事	

令和6年度 第1回静岡市農業振興協議会 席次表

令和6年9月13日(金) 13時30分～
静岡市役所清水庁舎3階 313会議室

入口

モリタ アキオ
森田 明雄 会長

ミツヤマ サダム
三津山 定 副会長

トクダ マサアキ
徳田 雅亮 委員

中尾 穰 委員

イシキリヤマ マコト
石切山 誠 副会長

オダマキ ヨコ
小田巻 洋子 委員

スギヤマ コウイチ
杉山 浩一 委員

タケウチ ミツコ
竹内 光子 委員

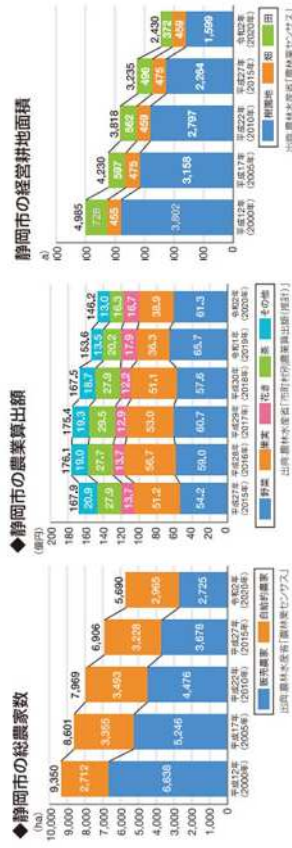
事務局					
農業政策課 課長補佐兼係長 石川 彰彦	農業政策課 課長 花村 章弘	農林水産統括監 大村 博	農林水産部長 太田 伸二	中山間地振興担当部長 加藤 浩康	中山間地振興課 課長 岡本 嘉章
農業政策課 主任主事 岡部 健一郎	農業政策課 参事兼みかん・園芸・畜産係長 水嶋 成彦	農業政策課 お茶のまち推進担当課長 石川 賀久	農業政策課 お茶のまち推進係長 大石 貴夫	農地利用課 課長 遠藤 能久	農地整備課 課長 石田 靖幸
農業政策課 主任主事 永野 功大	農業政策課 農業支援係長 宇佐美 正仁	報道席			

第2次静岡市農業振興計画の概要（計画期間：令和5～12年度）

資料1

1. 市農業の現状

- 総農家は、平成12年と令和2年を比較すると、39.1%減少。
- 農業産出額は、平成28年から減少し、平成27年と令和2年を比較すると、12.9%減少。
- 経営耕地面積は、平成12年から令和2年を比較すると、51.3%減少。



2. 市農業の課題



3. 取組の方向性



総括成果指標

・新規就農者数
・農業産出額

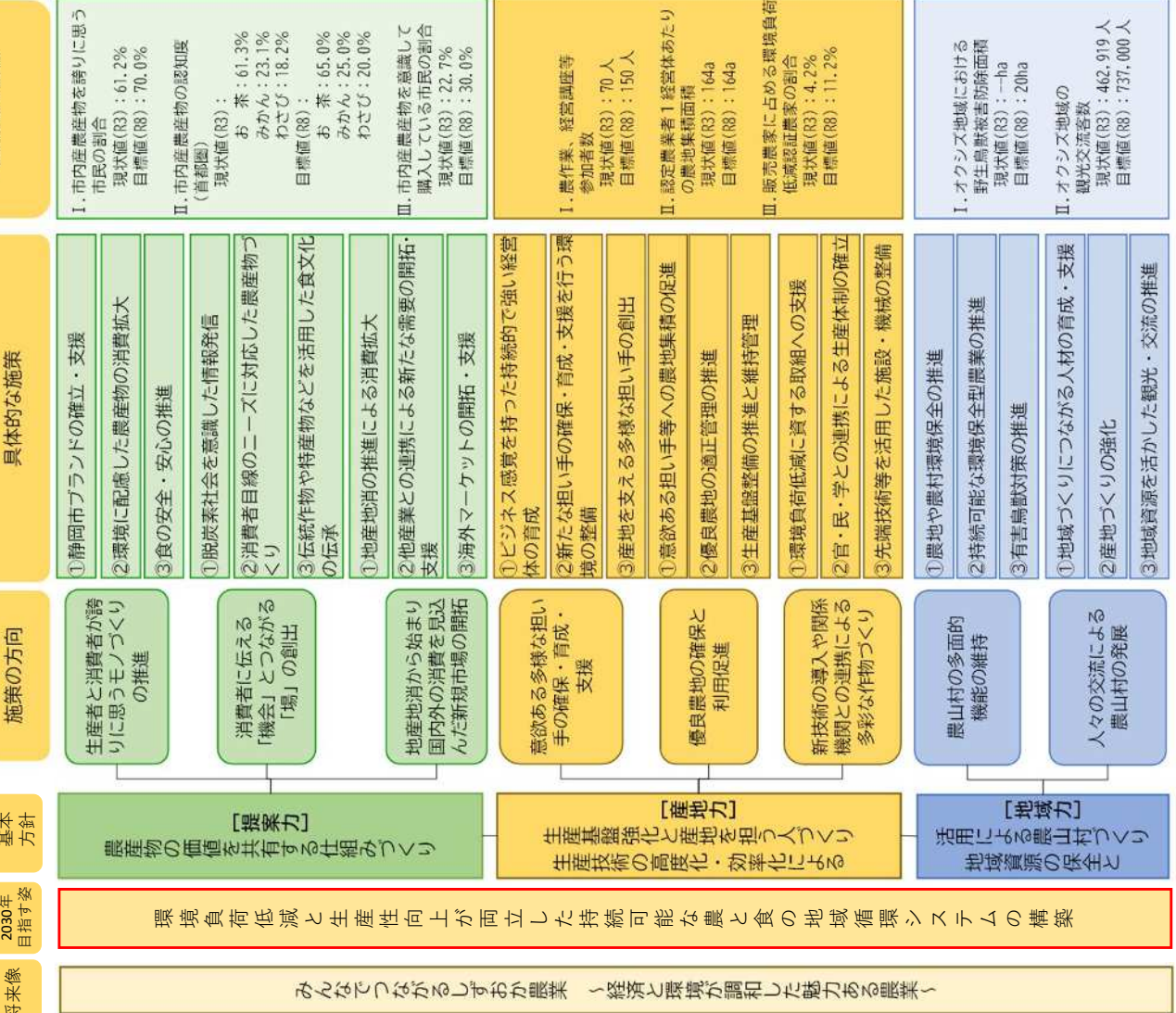
現状値 (R3) : 16経営体
現状値 (R3) : 157.9億円

目標値 (R8) : 23経営体
目標値 (R8) : 160億円

基本構想

基本計画

個別成果指標



第2次静岡市農業振興計画の成果指標確認表（令和5年度）

【資料2－1】

総括成果指標		現状値 (R3)	実績値 (R5)	目標値 (R8)	R5取組状況
新規就農者数		16経営体/年	26経営体	23経営体/年	新農業人フェアへの出展やがんばる新農業人支援事業現地見学会・新規就農現地見学会（就農準備セミナー）の実施により、新規就農者の増加に繋がった。
	農業産出額	157.9億円	164.8億円	160億円	各種助成や支援などの農業振興施策を関係機関と連携しながら推進し、農業算出額の増加を図った。

※R5実績値は、令和6年3月公表予定の令和4年度農業産出額とする。

基本方針	施策の方向	成果指標	現状値 (R3)	実績値 (R5)	目標値 (R8)	実施計画登録事業		R5取組状況	取組に対する評価
						事業数	実績額		
Ⅰ 提案力	1	生産者と消費者が誇りに思うモノづくりの推進	61.2%	62.3%	70.0%	19事業	722,534千円	専用サイト(ZRATTO)しずおか、お茶のまち静岡(市)や地場産品の販売イベントなどを通して、市内産農産物の持つ歴史的・文化的背景の普及や魅力について広く周知を図った。	専用サイトへのアクセス数は増加傾向であり、地場産品の販売イベントなどの取組を行うものの、市民の割合は横ばい傾向が続き、取組が成果に結びついていない。
	2	消費者に伝える「機会」とつながる「場」の創出	お茶:61.3% みかん:23.1% わさび:18.2%	—	—	11事業	22,585千円	東京で開催した静岡市交流会などを通じて、市内産農産物の魅力について広く周知を図った。	R5から調査内容の変更があり、調査を実施していないため、新たな成果指標を検討し、再設定を行う。
	3	地産地消から始まり国内外の消費を厚み込んだ新規市場の開拓	22.7%	21.2%	30.0%	14事業	49,165千円	産業フェアなどのイベントや生涯学習施設での講座、食育などを通じて、良質で特色ある市内産農産物の周知を図り、消費者の意識醸成を促した。	イベントや講座、食育などの取組を行うものの、市民の割合は横ばい傾向が続き、取組が成果に結びついていない。
Ⅱ 産地力	1	意欲ある担い手の確保・育成・支援	70人	67人	150人	28事業	142,958千円	ほ場を活用した研修の実施や野菜の栽培体験を通して、農業を始める機会を作り、担い手の確保を図った。	研修や栽培体験の他に、野菜の収穫体験など農業に触れる場も作っており、それらの機会を通して参加者数の増加につなげていく。
	2	優良農地の確保と利用推進	164a	161a	164a	14事業	186,726千円	国の助成制度や農地中間管理機構を活用し、土地の流動化を促すとともに、地域計画(R6年度末)の策定に向けて各地域での協議を進め、農地集積を図った。	R4農地集積面積は158aで、R8は微増しており、取組を継続的に行うことで、農地集積を進めていく。
	3	新技術の導入や関係機関との連携による多彩な作物づくり	4.2%	3.8%	11.2%	8事業	22,317千円	環境負荷低減認証制度の周知・広報や市内イベントへの出展支援を行うことで、認証農家の活動機会をつくった。	一般の栽培方式と比べ収量が減少するなどにより、新たに環境負荷低減の取組を行う農家が少なく、農家の割合は微減している。
Ⅲ 地域力	1	農山村の多面的機能の維持	—ha	11.13ha	20ha	8事業	167,685千円	オクシズ地域において、農家個人が鳥獣被害防除に取り組むやすすくなるよう、補助金制度を改正し、地域における防除の推進を図った。	補助制度の改正でオクシズ地域の野生鳥獣被害防除面積が拡大しており、農地や農村環境の保全につながっている。
	2	人々の交流による農山村の発展	462,919人	532,651人	737,000人	13事業	40,974千円	市内外で開催されるイベントへの出展やオクシズホームページのリニューアル、SNSでの発信を行うことで、オクシズの魅力を全国に発信し、中山間地振興施設の利用者数の増加を図った。	観光交流客数は、コロナ禍であったR3からは増加しており、回復傾向にあるものの、ピーク時の70万人台とは差が大きい。

第2次静岡市農業振興計画登載事業(令和5年度実施計画)

【資料2-2】

【評価】	A(90%以上105%未満) 期待どおり S(105%以上) 期待を上回る B(70%以上90%未満) 期待を下回る — 実施せず
------	--

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
1	1	①	農業政策課	農業経営講座	農業生産に意欲のある農業後継者を対象とし、農業経営に関する講座や研修研修の実施、幅広い情報提供等により、将来、静岡市農業の振興に寄与する青年の確保及び育成を図る。	280	201	講座受講者数	50人/年	61人/年	S	目標値より多くの受講者数を確保し、農業に対してより興味を持ってもらうことができた。
1	1	①	農業政策課	農業先端技術導入支援事業	農業者がスマート農業等の先端技術を効果的に導入・活用できるように支援を行うことで、農業における労働力不足の解消や生産性の向上、環境負荷の低減などを図る。	500	0	導入支援の件数	1件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中の事業は行われず、「評価なし」とした。
1	1	①	農業政策課	しずおか果樹百景プロジェクト	県や農協等の団体と連携して本市で栽培されている果樹をPRし、多種多様な果樹生産地である「果樹百景」静岡市の市内内外への浸透を図る。	337	115	研究会等の参加人数	14人	11人	B	研究会において関係者同士の情報交換や交流の場を持つことができたが、目標値には達しなかったため。
1	1	①	農業政策課	静岡市わさび振興方針推進事業	本市の重要な農産物であるわさびを、産業として継承し推進していくため、静岡市わさび振興方針推進会議を実施する。	3,330	2,963	生産性の向上が可能な優良品種の「パイオ苗」導入本数	35,000本	41,483本	A	原母株(4,680本)が予定より少なかつたが、1本に対して8本以上のパイオ株を供給でき、優秀な苗を生産者へ提供することができた。
1	1	①	農業政策課	「静岡水わさびの伝統栽培」世界農業遺産プロモーション事業	本市オウゴンズ地域で栽培されるわさびが「静岡水わさびの伝統栽培」世界農業遺産に認定されたことを機に、わさびのブランド化や観光客誘致を通じて地域経済の活性化を図る。	506	418	わさびの世界農業遺産認定認知度	50%	52%	A	わさびPRイベントの実施を通じて、本市のわさびや世界農業遺産等について概ね周知することができた。
1	1	①	農業政策課	「お茶のまち静岡市」国内プロモーション事業	市内外において「お茶のまち静岡市」及び「静岡市のお茶」の魅力を発信することにより、認知度及びブランド力向上、「静岡市のお茶」の販路拡大を図る。	4,737	1,931	静岡市における1世帯当たりの緑茶購入金額(3か年平均)	8,504円	8,815円	A	各事業について当初の計画どおり実施した。また、事業内で「お茶のまち静岡市」のPRとお茶の販促を行ったことにより、目標金額を達成することができたため。
1	1	①	農業政策課	静岡市グリーン農業支援事業補助金	化学農薬、化学肥料、温室効果ガスを減らした栽培方法や有機農業等に取り組む農業者を支援することで、市内農業の環境負荷の低減を図る。	3,000	0	補助件数	8件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中の事業は行われず、「評価なし」とした。
1	1	①	産業振興課	地域産業振興ブランド認証事業	市民が選ぶ静岡市の逸品を静岡市地域産業振興ブランドとして認証し、シティプロモーションの推進、地域経済の活性化を図る。	3,028	244	ブランド認知度	50%	51%	A	期待度と通りの認知度であったため。
1	1	①	財政課	ふるさと寄付金受入推進事業	ふるさと寄附金制度を活用し、農産物などの静岡市の特産品を返礼品に使用することにより、本市の魅力を全国に発信する。	750,000	697,515	WEB広告等の媒体やイベントなどを活用した事業周知及びシティプロモーション	広告掲載またはイベント1回以上	WEB広告の実施、イベント参加5回	S	実績が目標を大幅に上回ったため
1	1	①	農業政策課	お茶の日記念事業	11月1日を静岡市「お茶の日」として定め、その周知や静岡市のお茶が持つ魅力を広く発信する。	3,055	1,015	お茶の日周辺での記念事業の実施	実施	実施	A	前年度に対し、自治会などの民間団体の協力が増加したため。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】予算額 (千円)	【R5】決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
1	1	①	農業政策課	「お茶のまち静岡市」推進事業（「お茶のまち静岡市」HP活用事業）	お茶のまち静岡市の特徴や情報を市民等が得られるよう情報提供するとともに、イベント情報などお茶に関する情報を発信しお茶のまち静岡市」の推進を図る。	930	627	「お茶のまち静岡市」HPへのアクセス数	125,206件	142,259	S	随時HP等により「静岡市のお茶」及び「お茶のまち静岡市」の情報を発信することができた。
1	1	②	農業政策課	ふるさと農力チャレンジ事業	農産物の生産・加工・販売までを行う6次産業化など農産物に新たな価値を付与する事業に新たにに取り組む農業者等を支援することで、農業者の所得向上や地域の活性化を図る。	2,000	1,735	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数	4件	4件	A	目標値を達成し、新規事業に取り組むための加工・用機械の導入等へ支援することによって農業者の所得向上につなげた。
1	1	②	農業政策課	環境保全型農業対策支援事業	環境保全型農業を推進し、本市の持続的な農業を実現していくため、環境保全効果の高い農業生産を実践している農業者団体に対して交付金を交付する。	4,775	4,399	環境保全効果の高い農業への支援面積	3,703a	3,945a	A	目標値（前年度実績）を上回る取組面積となったことで想定以上の環境負荷低減効果を発揮させることができたため。
1	1	①	農業政策課	静岡市グリーン農業支援事業補助金	化学農薬、化学肥料、温室効果ガスを減らした栽培方法や有機農薬等に取り組む農業者を支援することで、市内農業の環境負荷の低減を図る。	3,000	0	補助件数	8件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中の事業は行われず、「評価なし」とした。
1	1	③	農業政策課	環境保全型農業対策支援事業	環境保全型農業を推進し、本市の持続的な農業を実現していくため、環境保全効果の高い農業生産を実践している農業者団体に対して交付金を交付する。	4,775	4,399	環境保全効果の高い農業への支援面積	3,703a	3,945a	A	目標値（前年度実績）を上回る取組面積となったことで想定以上の環境負荷低減効果を発揮させることができたため。
1	1	③	農業政策課	家畜伝染病予防対策	家畜伝染病対策の円滑な推進及び健全な畜産経営を図るため、各種伝染病予防注射・検査等家畜防疫事業に要する経費に対して補助する。	1,800	1,577	家畜飼養家52戸のうち、家畜伝染病予防事業に取り組んだ農家の割合	74%	69%	A	ほぼ例年通りの水準で家畜伝染病予防事業を遂行できた。
1	1	③	農業政策課	静岡県食肉センター再編整備事業負担金	安全で良質な食肉の安定供給機能の維持及び、畜産の振興を図るため、県食肉センターの再編整備に対する負担金	1,554	1,554	負担金交付の実施	実施	実施	A	施設整備に係る負担金交付事務について遅滞なく処理が完了したため。
1	1	③	農業政策課	静岡市グリーン農業支援事業補助金	化学農薬、化学肥料、温室効果ガスを減らした栽培方法や有機農薬等に取り組む農業者を支援することで、市内農業の環境負荷の低減を図る。	3,000	0	補助件数	8件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中の事業は行われず、「評価なし」とした。
1	1	③	農業政策課	蒲原畑総区域内公共用地活用事業	アグリチャレンジジバーク蒲原（西エリア農業体験広場）を活用した農業体験イベントを通じて、市民に対する農業の啓発を行う。	5,180	3,841	新規就農者の養成研修（年間）	30回	30回	A	研修は、栽培講習・経営講習を中心年に30回を計画的に実施することができた。
1	2	①	農業政策課	農水産物消費拡大促進事業	地産地消を起点に本市の農産物を市内外にPRし、消費者が夏の時期に地産農産物を食する機会を増やすことにより、消費の拡大、農産物の経営の向上と安定を図る。	2,528	1,336	HP「IZRATTO」しずおか」へのアクセスユーザー数	71,000件	69,439件	A	目標値に届かなかったが、市内農業者の直売所などのHPへリンクすることによって、市の農水産物の消費拡大へつなげることはできた。
1	2	①	農業政策課	静岡市お茶の学校	お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成のため「静岡市のお茶」について様々な分野から構成された総合的な通年講座を開催する。	357	200	講座の実施	全7回	全7回	A	予定通り講座を開催し、市民サポーターとして17名が修了した。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
1	2	①	農業政策課	「お茶のまち静岡市」国内プロモーション事業	JR静岡駅構内での横断幕掲示、フラッグ、ポスター掲示等による集中的なPRを実施する。	605	572	静岡市における「世帯当たりの緑茶購入金額(3年平均)」	8,504円	8,815円	A	市民に向けたPRを実施した結果、目標値を上回ることができたため。 なお、購入金額日本一を維持している(出典：総務省統計局家計調査)。
1	2	①	農業政策課	静岡市グリーン農業支援事業補助金	化学農薬、化学肥料、温室効果ガスを減らした栽培方法や有機農業等に取り組む農業者を支援することで、市内農業の環境負荷の低減を図る。	3,000	0	補助件数	8件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中の事業は行われず、「評価なし」とした。
1	2	②	農業政策課	静岡市グリーン農業支援事業補助金	化学農薬、化学肥料、温室効果ガスを減らした栽培方法や有機農業等に取り組む農業者を支援することで、市内農業の環境負荷の低減を図る。	3,000	0	補助件数	8件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中の事業は行われず、「評価なし」とした。
1	2	②	農業政策課	いざいざ都市農業推進事業補助金	市街化区域内農地で生産を行う販売農家(年間農業収入金額50万円以上)を対象者に、農業生産に必要な施設の整備や機械の導入を支援することで、生産意欲の向上、農業経営の安定及び促進を図る。併せて、ファミリー・フーズマーケット等への農産物の供給力アップに伴う地産地消の推進や都市農家の保全も図る。	22,000	12,042	生産緑地地区面積(ha)	240ha	203ha	A	市街化区域内農地の適切な維持・管理により、新鮮な農産物が市内直売所に安定的に供給されている。 目標に掲げる面積には届かないが、補助金の目的は果たされている。
1	2	②	農業政策課	多様な担い手育成支援事業	認定農業者や認定新規就農者としての認定要件を満たさず市内(市街化区域を除く)で生産を行う(半農半X)等の販路農家を対象に農業生産に要する施設の整備や機械の導入を支援する。	4,800	2,072	認定農業者数及び認定新規就農者数(経営体数)	630経営体	626経営体	A	事業の実施が認定農業者や認定新規就農者への誘導に寄与し、目標を上回った。
1	2	③	農業政策課	静岡市お茶の学校	お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成のため静岡市のお茶について様々な分野から構成された総合的な通年講座を開催する。	357	200	講座の実施	全7回	全7回	A	予定通り講座を開催し、市民サポーターとして17名が修了した。
1	2	③	農業政策課	お茶の美味しい入れ方教室	小学校における総合的学習の時間を利用し、お茶の入れ方を学ぶことを通じてお茶に対する味覚を育み、お茶を中心とした食育を図るとともに、本市基幹産物であるお茶の啓蒙・消費促進を図る。	3,902	2,782	実施校数	66校	66校	A	本事業を希望する全学校に対し、滞りなく実施することができた。
1	2	③	農業政策課	静岡市わさび振興方針推進事業	本市の重要な農産物であるわさびを、産業として継承し推進していくため、静岡市わさび振興方針推進会議を実施する。	3,330	2,963	生産性の向上が可能な優良品種のパイオ苗の導入本数	35,000本	41,483本	A	原母株(4,680本)が予定より少なかつたが、1本に対して8本以上のパイオ株を供給できおり、優良な苗を生産者へ提供することができた。
1	2	③	農業政策課	「静岡水わさびの伝統栽培」世界農業遺産プロモーション事業	本市オクシズ地域で栽培されるわさびが「静岡水わさびの伝統栽培」世界農業遺産に認定されたことを機に、わさびのブランド化や観光客誘致を通じて地域経済の活性化を図る。	506	418	わさびの世界農業遺産認定認知度	50%	52%	A	わさびPRイベントの実施を通して、本市のわさびや世界農業遺産等について詳細に周知することができた。
1	3	①	農業政策課	農水産物消費拡大促進事業	地産地消を起点に本市の農産物を市内外にPRし、消費者が旬の時期に地場農産物を楽しむ機会を拡大することに、消費の拡大、農産物の経営の向上と安定を図る。	2,528	1,336	HP「ZRAITTO!しずおか」へのアクセスユーザー数	71,000件	69,439件	A	目標値に届かなかったが、市内農業者の直売所などのHPをリファクタリングすることで、市の農水産物の消費拡大へつなげることができた。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
1	3	①	学校給食課	学校給食における地場産物の活用	静岡の特産物を使った献立を学校給食に取り入れ、静岡県内産及び市内産の農産物を学校給食に活用する。	0	0	各学校給食施設でふるごと給食の日」を月1回以上実施する。	全学校給食施設で月1回以上	全学校給食施設で月1回以上実施	A	全学校給食施設で目標達成ができた。ふるごと給食の日」では、静岡県内産及び市内産の農産物を積極的に取り入れた。
1	3	①	農業政策課	しずおか果樹百景プロジェクト	県や農協等の団体と連携して本市で栽培されている果樹をPRし、多種多様な果樹生産地である「果樹百景」静岡市の市内外への浸透を図る。	337	115	研究会等の参加人数	14人	11人	B	研究会において関係者同士の情報交換や交流の場を持つことができたが、目標値には達しなかったため。
1	3	①	農業政策課	農業まつり開催補助金	地元の農業・林業・水産業・畜産業の消費宣伝、即売、展示を行うことにより、本市の農業の実状を広く市民に紹介し、理解を深める機会とするとともに、本市の農業の振興を図る。	810	810	アグリフエスタ来場者数	25,000人	26,000人	A	目標値を達成する来場者数があり、地元農産物の販売による地域農業への理解の場としての効果を果たせたため。
1	3	①	健康づくり推進課	食育普及啓発推進事業	静岡市食育推進計画に基づき、「健康寿命の延伸」と「健康長寿のまちの実現」を目指し、健やかな食生活の実践や、地産地消や静岡の食文化の継承等による食育活動を推進する。	699	699	①食育広場園田事業参加者数 ②食育啓発用まんの配布学校数	①1,000人 ②27校	①1,392人 ②27校	A	①教室等の定員を増やして開催したこと、目標より大きく参加者数が増えたが、講師派遣回数では前年度とほぼ同様であった。 ②計画通り実施した。
1	3	①	農業政策課	いきいき都市農業推進事業補助金	販売農家（年間農業収入金額50万円以上）を対象者に、市街化区域内の農業生産に必要な施設の整備や機械の導入を支援することで、農業意欲の向上、及び農業経営の安定・促進を図る。併せて、ファーマーズマーケット等への農産物の供給力アップに伴う地産地消の推進、及び優良都市農地の保全を図る。	22,000	12,042	生産緑地地区面積(ha)	240ha	203ha	A	市街化区域内農地の適切な維持・管理により、新鮮な農産物が市内直売所に安定的に供給されている。目標に届ける面積には届かないが、補助金の目的は果たされている。
1	3	①	生涯学習推進課	生涯学習施設における講座の実施	市内生涯学習施設において料理講座や食育講座等を実施する。 ※現代的問題の分野(食育、地産地消、地域食材、食の安全、お茶のまち、農林漁業体験)の講座を想定。			受講生満足度	90%	96%	S	目標値を達成し、生涯学習施設での料理講座や食育講座等を開催することができた。
1	3	①	駿河区地域総務課	駿河区旬穫祭(区の魅力づくり事業)	駿河区の旬の特産品の物販イベントの開催を実施することにより、情報発信、地産地消の促進を図る。	2,190	1,738	延べ参加団体数	20団体	26団体	S	民間事業者及び他局との連携により、駿河区の特産品等のPRイベントを開催し、目標を上回る成果をあげることができた。
1	3	①	農業政策課	茶販路拡張事業	静岡のお茶の消費を拡大するために、消費者に対する静岡のお茶に関する情報提供・静岡のお茶の宣伝事業を行う静岡県茶商工業協同組合に対して、補助金を交付する。	3,000	3,000	茶販路拡張事業の確実な実施	実施	実施	A	静岡県静岡市「博多祇園山笠」でのPRイベントや静岡市教育局、ベルデックス静岡と連携を図るなど茶販路拡張に資する取り組みを実施したため。
1	3	②	農業政策課	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー事業	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入により、「お茶のまち静岡市」のブランドインゲンを強化するとともに、タクシー乗務員に対して質の高いおもてなしの講習会を実施することにより、市民が連携して観光誘客、「交流人口」の増加を図る。	6,257	9,940	ラッピングタクシー導入台数	7台	7台	A	当初の計画どおり、7台のタクシーへ「お茶のまち静岡市」のラッピングを実施したため。
1	3	②	産業政策課	健康・食品産業推進事業	県と中部5市(静岡市、焼津市、藤枝市、豊田市、牧之原市)で食品の高付加価値化(機能性食品の開発等)を推進する。	2,000	2,000	市内企業の商品開発件数	4件	4件	A	支援企業に対して、補助金の交付先であるフーズ・ヘルスケアオーブナイノベーションセンターから、事業者に対して専門的なアドバイザーやビジネススマッチング等を行い、目標を達成したため。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
1	3	②	中山間地振興課	オクシズ元気ビジネス支援事業	中山間地域の活性化を促し、集落の維持を図るため、地域の産業、自然、文化などの資源を活用した「新たなビジネス」の実施及び準備にかかる経費の一部を助成する。	10,000	4,440	事業化件数	3件	3件	A	新メニューや土産品の開発、民泊開業に対する3件の支援を行うことで、地域への誘客に繋げることができた。
1	3	③	産業振興課	中小企業海外展開支援事業	東アジアや東南アジアに販路開拓を必要とする中小企業に対し、テストマーケティングや個別商談等を実施する。	6,000	5,500	商談件数	30件	33件	A	期待どおりの商談件数であったため。
1	3	③	農業政策課	特産茶戦略的輸出促進事業	茶業者の新規商流の獲得販路拡大を目的とした海外展示会の出張費用等への助成や残留農業検査への助成を行う。	4,400	7,545	本市事業に係る「静岡市のお茶」の輸出量	2.95t	7.0t	S	7件の海外展示会出張費用等の助成をした他、9月補正予算で海外販路開拓のプラットフォームを構築したことで、目標を上回る輸出量となったため。
2	1	①	農業政策課	認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金	地域農業の担い手である認定農業者及び新規就農者等の農作業の省力化や先端技術の導入等、経営基盤の強化を目的に実施する事業に対し、その経費の一部を助成する。	22,000	20,976	認定農業者数及び認定新規就農者数(経営体数)	630経営体	626経営体	A	補助事業の実施により、市内の認定農業者等の経営基盤の強化に寄与し、目標値を上回った。
2	1	①	農業政策課	静岡県農業経営収入保険制度加入事業補助金	様々な経営リスクによる収入減少に備えるため、全国農業共済組合連合会が取り扱う農業経営収入保険に農業者自らが加入する際の保険料の一部を助成する。	4,560	3,161	認定農業者数(経営体数)	600経営体	605経営体	A	農業者自身が自らの経営リスクに対して備えることで持続的かつ安定的な農業経営を実現するための当該保険制度への加入者は毎年概ね50経営体ずつの増加となっている。当該補助事業が加入に向けた1つのきっかけとなっている。
2	1	①	農業政策課	経営継承・発展等支援事業	先代である中心経営体から経営に関与する主宰権のすべてについて継承を受けた後継者の農業経営を更に発展させるために行う取組に対して支援する。	6,000	2,000	認定農業者数(経営体数)	600経営体	605経営体	A	令和5年度は2件が事業を実施した。後継者の農業経営の発展に向けて寄与している。
2	1	①	農業政策課	農地利用効率化等支援交付金	自らの農業経営を効率化し、所得の増大に結びつけたため、必要な農業用機械や施設の導入に対して支援する。	6,000	0	認定農業者数及び認定新規就農者数(経営体数)	630経営体	626経営体	—	令和5年度は申請件数がなく、実績がなかったため、「評価なし」とした。
2	1	①	農業政策課	いざい都市農業推進事業補助金	市街化区域内農地で生産を行う販売農家(年間農業収入金額50万円以上)を対象者に、農業生産に必要な施設の整備や機械の導入を支援することで、生産意欲の向上、農業経営の安定及び促進を図る。併せて、ファーマーズマーケット等への農産物の供給力アップに伴う地産地消の推進や都市農地の保全も図る。	22,000	12,042	生産緑地地区面積(ha)	240ha	203ha	A	市街化区域内農地の適切な維持・管理により、新鮮な農産物が市内直売所に安定的に供給されている。目標に掲げる面積には届かないが、補助金の目的は果たされている。
2	1	①	農業政策課	農業用機械継承支援事業	使用していないが使用可能な農業用機械を他の農業者に継承する際に実施する機械のメンテナンス作業の一部に対して支援する。	640	0	農業用機械の継承成立率	80%	0%	—	継承可能な農業用機械の登録が3件あったが、機械の継承は行われなかったため、「評価なし」とした。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
2	1	①	農業政策課	経営改善支援事業	静岡市「農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想」に基づき、農業経営を効率的かつ安定的に行うことを農業経営者が策定する農業経営改善計画の作成支援、認定等を行う。	1,168	260	認定農業者数及び認定新規就農者数(経営体数)	630経営体	626経営体	A	20件の経営改善計画の新規認定並びに、55件の再認定に向けたヒアリング及び認定審査を実施。また、5件の青年等就農計画の新規認定を行った。このほか、各計画の変更や廃止に関する事務手続を行い、目標値を上回る認定農業者及び新規就農者の確保に至った。
2	1	①	農業政策課	多様な担い手育成支援事業	認定農業者や認定新規就農者としての認定要件を満たさず市内(市街化区域を除く)で生産を行う(半農半X)等の販路開拓を対象に農業生産に要する施設の整備や機械の導入を支援する。	4,800	2,072	認定農業者数及び認定新規就農者数(経営体数)	630経営体	626経営体	A	事業の実施が認定農業者や認定新規就農者への誘導に寄与し、目標を上回った。
2	1	①	農業政策課	農業経営講座	農業生産に意欲のある農業後継者を対象とし、農業経営に関する講座や相談研修の実施、幅広い情報提供等により、将来、静岡市農業の振興に寄与する青年の確保及び育成を図る。	280	201	講座受講者数	50人/年	61人/年	S	目標値より多くの受講者を確保し、農業に対してより興味を持ってもらうことができた。
2	1	①	農業政策課	農業近代化資金利子補助金	市内の認定農業者が経営基盤の強化等を目的に融資機関から農業近代化資金を借り入れた場合に、市が融資機関に対して利子補給を行う。	1,579	719	認定農業者数(経営体数)	600経営体	605経営体	A	利子補給の実施により、安定した経営を行う認定農業者の確保に寄与し、目標値を上回った。
2	1	①	農業政策課	農業共済組合負担金	農業災害補償法に基づき、地域農業者の農業災害補償に関する保険料等を実施する静岡県中部農業共済組合に対し、応分の負担を行う。	10,199	10,199	農業保険への加入促進、共済金の円滑な支払い	実施	実施	A	組合の運営費を助成することで農業共済事業が円滑に滞れなく実施された。
2	1	②	農業政策課	認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金	地域農業の担い手である認定農業者及び新規就農者等の農作業の省力化や先端技術の導入等、経営基盤の強化を目的に実施する事業に対し、その経費の一部を助成する。	22,000	20,976	認定農業者数及び認定新規就農者数(経営体数)	630経営体	626経営体	A	補助事業の実施により、市内の認定農業者等の経営基盤の強化に寄与し、目標値を上回った。
2	1	②	農業政策課	新規就農者育成総合対策事業	就農後の経営発展のために必要な機械、施設の導入や、経営開始直後の生活を下支えするための資金を認定新規就農者に対して交付する。	51,000	27,038	認定新規就農者数(経営体数)	30経営体	21経営体	A	目標値には届かなかったが、JAや県と連携して認定新規就農者の裾り起しを行うとともに、認定新規就農者の定着を図られるよう、関係機関と就農状況のヒアリング及び助言等を行ったことにより、離農を防ぎ、概ね目標水準を維持することができた。
2	1	②	農業政策課	農業次世代人材育成投資事業(経営開始型)	経営開始初期段階の認定新規就農者の生活を下支えするための資金を交付する。	12,750	11,883	認定新規就農者数(経営体数)	30経営体	21経営体	A	目標値には届かなかったが、JAや県と連携して認定新規就農者の裾り起しを行うとともに、認定新規就農者の定着を図られるよう、関係機関と就農状況のヒアリング及び助言等を行ったことにより、離農を防ぎ、概ね目標水準を維持することができた。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
2	1	②	農業政策課	経営継承・発展等支援事業	先代である中心経営体から経営に関する主権権のすべてについて継承を受けた後継者の農業経営を更に発展させるために行う取組に対して支援する。	6,000	2,000	認定農業者数 (経営体数)	600経営体	605経営体	A	令和5年度は2件が事業を実施した。後継者の農業経営の発展に向けて寄与している。
2	1	②	農業政策課	いざいざ都市農業推進事業補助金	市街化区域内農地で生産を行う販売農家(年間農業収入金額50万円以上)を対象者に、農業生産に必要な施設の整備や機械の導入を支援することで、生産意欲の向上、農業経営の安定及び促進を図る。併せて、ファミリー・グループ等への農産物の供給力アップに伴う地産地消の推進や都市農地の保全も図る。	22,000	12,042	生産緑地地区面積(ha)	240ha	203ha	A	市街化区域内農地の適切な維持・管理により、新鮮な農産物が市内直売所に安定的に供給されている。目標に掲げる面積には届かないが、補助金の目的は果たされている。
2	1	①	農業政策課	蒲原畑緑区域内公共用地活用事業	アグリチャレンジパーク蒲原(新規就農者向け研修ほ場及び農業体験広場)を活用し、新規就農者の育成や市民に対する農業の啓発を行う。	5,180	3,841	新規就農者の養成研修(年間)	30回	30回	A	研修は、栽培講習、経営講習を中心に年30回を計画的に実施することができた。
2	1	①	農業政策課	静岡市かんばる新農人支援事業	新規就農をするための研修体制を創出するための経費として、50歳以上64歳未満の研修生1名あたり500千円/年の補助金を事業主体である地域受入連絡会に交付する。	500	0	認定新規就農者数 (経営体数)	30経営体	21経営体	—	地域受入連絡会の当該事業が対象とする層の受け入れ予定が無かったため、事業を実施しなかった。
2	1	①	農業政策課	静岡市農業経営収入保険制度加入事業補助金	様々な経営リスクによる収入減少に備えるため、全国農業共済組合連合会が取り扱う農業経営収入保険に農業者自らから加入する際の保険料の一部を助成する。	4,560	3,161	認定農業者数 (経営体数)	600経営体	605経営体	A	農業者自身が自らの経営リスクに対して備えることで持続的かつ安定的な農業経営を実現するため、当該保険制度への加入者は毎年概ね50経営体ずつの増加となっている。当該補助事業が加入に向けた1つのきっかけとなっている。
2	1	①	農業政策課	農業用機械継承支援事業	使用していないが使用可能な農業用機械を他の農業者に継承する際の実施する機械のメンテナンス作業の一部に対して支援する。	640	0	農業用機械の継承成立率	80%	0%	—	継承可能な農業用機械の登録が3件あったが、機械の継承は行われなかったため、「評価なし」とした。
2	1	①	農業政策課	多様な担い手育成支援事業	認定農業者や認定新規就農者としての認定要件を満たさず市内(市街化区域を除く)で生産を行う(半農半入)等の販売農家を対象に農業生産に要する施設の整備や機械の導入を支援する。	4,800	2,072	認定農業者数及び認定新規就農者数(経営体数)	630経営体	626経営体	A	事業の実施が認定農業者や認定新規就農者への誘導に寄与し、目標を上回った。
2	1	②	農業政策課	農業経営講座	農業生産に意欲のある農業後継者を対象とし、農業経営に関する講座や勉強研修の実施、幅広い情報提供等により、将来、静岡市農業の振興に寄与する青年の確保及び育成を図る。	280	201	講座受講者数	50人/年	61人/年	S	目標値より多くの受講者数を確保し、農業に対してより興味を持ってもらうことができた。
2	1	③	農業政策課	蒲原畑緑区域内公共用地活用事業	アグリチャレンジパーク蒲原(新規就農者向け研修ほ場及び農業体験広場)を活用し、新規就農者の育成や市民に対する農業の啓発を行う。	5,180	3,841	新規就農者の養成研修(年間)	30回	30回	A	研修は、栽培講習、経営講習を中心に年30回を計画的に実施することができた。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
2	1	③	農業政策課	農業経営講座	農業生産に意欲のある農業後継者を対象とし、農業経営に関する講座や指導研修の実施、幅広い情報提供等により、将来、静岡市農業の振興に寄与する青年の確保及び育成を図る。	280	201	講座受講者数	50人/年	61人/年	S	目標値より多くの受講者数を確保し、農業に対してより興味を持ってもらうことができた。
2	1	③	農業政策課	経営継承・発展等支援事業	先代である中心経営体から経営に関する主宰権のすべてについて継承を受けたい後継者の農業経営を更に発展させるために行う取組に対して支援する。	6,000	2,000	認定農業者数 (経営体数)	600経営体	605経営体	A	令和5年度は2件が事業を実施した。 後継者の農業経営の発展に向けて寄与している。
2	1	③	農業政策課	農業用機械継承支援事業	使用していないが使用可能な農業用機械を他の農業者に継承する際に実施する機械のメンテナンス作業の一部に対して支援する。	640	0	農業用機械の継承成立 率	80%	0%	—	継承可能な農業用機械の登録が3件あったが、機械の継承は行われなかったため、「評価なし」とした。
2	1	③	農業政策課	多様な担い手育成支援事業	認定農業者や認定新規就農者としての認定要件を満たさず市内(市街化区域を除く)で生産を行う(半農半X)等の販路開拓を对象に農業生産に要する施設の整備や機械の導入を支援する。	4,800	2,072	認定農業者数及び認定 新規就農者数(経営体 数)	630経営体	626経営体	A	事業の実施が認定農業者や認定新規就農者への誘導に寄与し、目標を上回った。
2	1	③	農業政策課	静岡市かんばる新農業人支援事業	新規就農をするための研修体制を創出するための経費として、50歳以上64歳未満の研修生1名あたり500千円/年の補助金を事業主体である地域受入連絡会に交付する。	500	0	認定新規就農者数 (経営体数)	30経営体	21経営体	—	地域受入連絡会の当該事業が対象とする層の受け入れ予定が無かったため、事業を実施しなかった。
2	2	①	農地利用課	農地中間管理事業	農用地の利用の効率化と高度化を図るため、農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を図る。	1,444	0	農地中間管理事業による 農地集積面積	59ha	46ha	B	前年に比べて新規と円滑化から中間管理への移行が滞ったことから目標値を下回った。
2	2	①	農地利用課	荒廃農地再生・集積促進事業	高齢化や後継者不足により荒廃した農地を再生し、意欲ある担い手に引き継ぐため、荒廃農地の再生作業、及びそれに附帯する施設補完整備に係る費用の一部を助成する。	6,600	6,595	荒廃農地の再生面積及び 担い手人の集積面積	1.27ha	1.02ha	B	前年に比べ、再生単価が高い事業が半数を占めたことから、再生面積は前年度実績を下回った。
2	2	①	農業政策課	茶園集積推進事業	農地中間管理事業を活用して茶工場等への茶園集積を推進することにより、茶園の耕作放棄地の発生を防止し、茶園の保全を図る。	1,500	648	対象茶園面積	207a	259a	S	前年度中に要望のあった対象茶園の一部で取り下げが起きたり、当該年度で追加要望があったが、その他の対象茶園については適切に対応することができた。
2	2	①	農地整備課	県営経営体育成樹園地再編整備事業	土地改良による生産性の向上、農地流動化による担い手の経営安定化を図るため、生産基盤整備、農村集落環境整備を総合的に実施する団体にに対して補助金を交付する。	36,600	9,600	土地改良事業着手地区 数	3	4	A	事業個所の災害復旧事業の影響により予算額に對し決算額が減少したものの、遅滞なく交付金を交付し、土地改良着手地区数も目標値に達したため。
2	2	①	農地利用課	農地中間管理事業	農用地の利用の効率化と高度化を図るため、農地を貸し付けた地域及び個人を支援することにより、農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化を図る。	1,444	0	農地中間管理事業による 農地集積面積	59ha	46ha	B	前年に比べて新規と円滑化から中間管理への移行が滞ったことから目標値を下回った。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
2	2	①	農業委員会事務局	農地利用状況・利用意向調査	農地利用状況調査	2,000	1,660	遊休農地の解消	13.9ha	20.3ha	S	新たな最適化ガイドラインに基づく農地利用最適化推進委員の積極的な最適化活動の展開により、遊休農地の解消面積は目標値を上回った。
2	2	①	農地利用課	農業振興地域整備計画の管理	優良農地の確保を目的とする「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、農業振興地域整備計画の管理事務を行う。	889	723	農用地区域標準面積の確保	5,800ha	5,867ha	A	静岡市農業振興地域整備計画の変更を円滑・適正に執行し、かつ、目標面積に対して101.2%達成した。
2	2	①	緑地政策課	生産緑地制度の運用	生産緑地指定要件を満たす農地について、生産緑地地区の指定を行うことにより市街化区域内農地を保全する。	7,304	7,590	申請に基づく、適正な農地の生産緑地地区新規指定		実施	A	適正な時期に実施できたため。
2	2	②	農地利用課	荒廃農地再生・集積促進事業	高齢化や後継者不足により荒廃した農地を再生し、意欲ある担い手に引き継ぐため、荒廃農地の再生作業、及びそれに附帯する施設補完整備に係る費用の一部を助成する。	6,600	6,595	荒廃農地の再生面積及び担い手への集積面積	1.27ha	1.02ha	B	前年に比べ、再生単価が高い事業が半数を占めたことから、再生面積は前年度実績を下回った。
2	2	③	農地整備課	農道等新設改良事業	農道の効率化及び農業生産物の流通の合理化・農村環境の改善を図るため、農道・水路等の整備を実施する。	115,700	85,564	年度当初の実施数量 ①工事(延長) ②委託(件数)	①1,010m ②4件	①918m ②2件	A	農道・水路等の整備を予定した施工箇所を実施したため。
2	2	③	農業政策課	茶産地総合対策事業	安定的かつ持続的な茶葉経営に向けた基盤づくりのため、小規模茶園地の整備や製茶機械の導入、茶園共同管理の推進、補完作物への転換、防霜施設の修繕等の取り組みに対して助成する。	22,038	21,043	補助事業実施による受益面積	130ha	202ha	S	当初の要望を上回る対象茶園について茶産地総合対策事業を実施することができた。
2	2	③	農業政策課	茶園集積推進事業	農地中間管理事業を活用して茶工場等への茶園集積を推進することにより、茶園の耕作放棄地の発生を防止し、茶園の保全を図る。	1,500	648	対象茶園面積	207a	259a	S	前年度中に要望のあった対象茶園の一部を取り下げが起きたり、当該年度で追加要望があったが、その他の対象茶園については適切に対応することができた。
2	2	③	農地整備課	県営経営体育成樹園地再編整備事業	土地改良による生産性の向上、農地流動化による担い手の経営安定化を図るため、生産基盤整備、農村集落環境整備を総合的に実施する団体に対して補助金を交付する。	36,600	9,600	土地改良事業着手地区数	3	4	A	事業個所の災害復旧事業の影響により予算額に対し決算額が減少したものの、運搬なく交付金を交付し、土地改良着手地区数も目標値に達したため。
2	2	③	農地整備課	多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面的機能を維持・発掘するため、地域資源の適切な保全管理を共同で実施する活動団体に対して交付金を交付する。	38,379	36,460	交付団体数	35	35	A	運搬なく交付金を交付し、交付団体数も目標値の35団体を維持できたため。
2	3	①	農業政策課	環境保全型農業対策支援事業	環境保全型農業を推進し、本市の持続的な農業を実現していくため、環境保全効果の高い農業生産を実践している農業者団体に対して交付金を交付する。	4,775	4,399	環境保全効果の高い農業への支援面積	3,703a	3,945a	A	目標値(前年度実績)を上回る取組面積となったことと想定以上の環境負荷低減効果を発揮させたことができたため。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
2	3	①	農業政策課	農業先端技術導入支援事業	農業者がスマート農業等の先端技術を効果的に導入・活用できるように支援を行うことで、農業における労働力不足の解消や生産性の向上、環境負荷の低減などを図る。	500	0	導入支援の件数	1件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の旨通しが立たなかったため、本年度中での事業は行われず、「評価なし」とした。
2	3	①	農業政策課	静岡市グリーン農業支援事業補助金	化学農薬、化学肥料、温室効果ガスを減らした栽培方法や有機農業等に取り組む農業者を支援することで、市内農業の環境負荷の低減を図る。	3,000	0	補助件数	8件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の旨通しが立たなかったため、本年度中での事業は行われず、「評価なし」とした。
2	3	①	農業政策課	いきいき都市農業推進事業補助金	市街化区域内農地で生産を行う販売農家(年間農業収入金額50万円以上)を対象者に、農業生産に必要な施設の整備や機械の導入を支援することで、生産意欲の向上、農業経営の安定及び促進を図る。併せて、ファーマーズマーケット等への農産物の供給力アップに伴う地産地消の推進や都市農地の保全を図る。	22,000	12,042	生産緑地地区面積(ha)	240ha	203ha	A	市街化区域内農地の適切な維持・管理により、新鮮な農産物が市内直売所に安定的に供給されている。目標に掲げる面積には届かないが、補助金の目的は果たされている。
2	3	①	農業政策課	特産茶戦略的輸出促進事業	事業の1つとして、残留農薬検査への助成を実施。	2,000	153	本市事業に係る「静岡市のお茶」の輸出量	2.95t	7.0t	S	残留農薬検査への助成件数は当初想定を下回ったが、輸出量は目標を上回ったため。
2	3	①	農業政策課	静岡県果樹研究センター誘致事業	市の果樹振興、後継者育成のため、県営畑総「茂畑地区」内に県果樹研究センターを誘致するため、用地の造成及び進入路等を整備する。	5,585	4,169	安定期策施工後の用地継続観測結果に基づく検証会議の実施と用地の維持管理	実施	実施	A	安定期策施工後の用地の継続観測結果に基づき令和5年11月実施の検証会議で安全が宣言された。用地の意向し作業をばじめとした維持管理を適切に実施した。
2	3	③	農業政策課	静岡県食肉センター再編整備事業負担金	安全で良質な食肉の安定供給機能の維持及び、畜産の振興を図るため、県食肉センターの再編整備に対する負担金	1,554	1,554	負担金交付の実施	実施	実施	A	施設整備に係る負担金交付事務について遅滞なく処理が完了したため。
2	3	③	農業政策課	柑橘共通選場整備事業	農業者の出荷負担の軽減や選果精度の向上のため、JAしずめの柑橘共通選場の再整備に伴い、共通選場の老朽化が進んでいるJA静岡市、JA大井川、JAバレイナと共同利用を想定し整備を行う。	0	0	建設委員会等への参加	5回	5回	A	関係機関と協議し、課題の共有や支援に向けた手続の確立を行った。
3	1	①	農地整備課	多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するため、地域資源の適切な保全管理を共同で実施する活動団体に対して交付金を交付する。	38,379	36,460	交付団体数	35	35	A	遅滞なく交付金を交付し、交付団体数も目標値の35団体を維持できたため。
3	1	①	農業政策課	援農ボランティア事業	中山間地を始めとする農村地域の後継者不足や高齢化による人手不足に悩む農業者と、農業に関心のある大学生や消費者等の若者や退職した団塊世代等を結び、農業者へ労働力を提供する。	55	0	ボランティアの派遣人数	126人	117人	A	概ね例年通りボランティアを派遣できたため、人手不足に悩む農家へのサポートに繋がった。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】予算額 (千円)	【R5】決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
3	1	①	農業政策課	いさいき都市農業推進事業補助金	販売農家(年間農業収入金額50万円以上)を対象者に、市街化区域内の農業生産に必要な施設の整備や機械の導入を支援すること、農業意欲の向上、及び農業経営の安定・促進を図る。併せて、ファーマーズマーケット等への農産物の供給力アップに伴う地産地消の推進、及び優良都市農地の保全を図る。	22,000	12,042	生産緑地地区面積(ha)	240ha	203ha	A	市街化区域内農地の適切な維持・管理により、新鮮な農産物が市内通商所に安定的に供給されている。目標に掲げる面積には届かないが、補助金の目的は果たされている。
3	1	②	農業政策課	環境保全型農業対策支援事業	環境保全型農業を推進し、本市の持続的な農業を実現していくため、環境保全効果の高い農業生産を実践している農業者団体に対して交付金を交付する。	4,775	4,399	環境保全効果の高い農業者への支援面積	3,703a	3,945a	A	目標値(前年度実績)を上回る取組面積となったこと、想定以上の環境負荷低減効果を発揮できていることができたため。
3	1	③	農業政策課	農業先端技術導入支援事業	農業者がスマート農業等の先端技術を効果的に導入・活用できるように支援を行うことで、農業における労働力不足の解消や生産性の向上、環境負荷の低減などを図る。	500	0	導入支援の件数	1件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中の事業は行われず、「評価なし」とした。
3	1	④	農業政策課	静岡市グリーン農業支援事業補助金	化学農薬、化学肥料、温室効果ガスを減らした栽培方法や有機農業等に取り組む農業者を支援することで、市内農業の環境負荷の低減を図る。	3,000	0	補助件数	8件	0件	—	事業活用についての相談はあったが年度内事業完了の見通しが立たなかったため、本年度中の事業は行われず、「評価なし」とした。
3	1	⑤	中山間地振興課	野生鳥獣被害対策事業	野生鳥獣による被害から農林産物を守り、農林業経営を維持していくため、防除資材購入の補助、経費地帯の整備、有害鳥獣捕獲、地域ぐるみで対策を講じるための勉強会等を実施する。	130,006	114,784	オクズズ地域における防除面積	5ha	11.13ha	S	制度の改正や事業の周知等により、目標を上回る防除の支援を実施することができた。
3	2	①	農業政策課	静岡市ががんばる新農業者支援事業	新規就農をするための研修体制を創出するための経費として、50歳以上64歳未満の研修生1名あたり500千円/年の補助金を事業主体である地域受入連絡会に交付する。	500	0	認定新規就農者数(経営体数)	30経営体	21経営体	—	地域受入連絡会の当該事業を対象とする層の受け入れ予定が無かったため、事業を実施しなかった。
3	2	①	中山間地振興課	地域おこし協力隊事業	総務省の地域おこし協力隊事業を導入し、地域産物のブランド化の推進や、訪客の増を図るとともに、地域おこし協力隊の定住を図り、人口減対策とする。	29,378	10,839	制度開始時から現在までの、地域おこし協力隊の任期満了後の定着率	83%	83%	A	任期満了となる隊員6人のうち5人が、市内に定住し定着することになったことで、目標を達成することができた。
3	2	①	障害福祉企画課	「農・福・連携」の推進事務	市内の認定農業者に対して農福連携の周知を行うとともに、就労系障害福祉サービス事業所に対し農福連携の周知及び意向調査を行い、両者の相互理解を深める情報提供を実施する。	0	0	就労サービス系事業所への情報提供等	労サービス系事業所への情報提供と意向調査の実施	実施	A	認定農業者及び静岡市自立支援協議会就労支援部会にて、農福連携の周知を実施。
3	2	②	農業政策課	お茶の美味しい入れ方教室	小学校における総合的学習の時間を利用し、お茶の入れ方を学ぶことを通じてお茶に対する興味を育み、お茶を中心とした食育を図るとともに、本市産茶産物であるお茶の啓蒙・消費促進を図る。	3,902	2,782	実施校数	66校	66校	A	本事業を希望する全学校に対し、滞りなく実施することができた。

基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)予算・決算額		(5)成果指標			(6)評価	
	施策の方向	具体的な施策				【R5当初】 予算額 (千円)	【R5】 決算額 (千円)	指標名	R5 目標値	R5 実績値	評価	評価理由
3	2	③	中山間地振興課	オクシズスポーツツーリズム促進事業	スポーツを切り口としてオクシズへと都市住民を誘導し、交流人口を増加させ、オクシズ地域の農林水産物などの魅力を広く知ってもらうため、スポーツによる地域活性化事業を行う団体に対して補助金を交付する。	3,000	1,884	参加者数	500人	313人	C	一部の団体で林道の災害復旧の遅れから大会を小規模開催としたことから、目標の人数を達成できなかったが、地域外の参加者に対し、オクシズの農林水産物等の魅力を発信できた。
3	2	③	国際交流課	訪日教育旅行誘致促進事業	静岡ならではの自然や地域資源を活かした体験型観光プログラムを発信し国内外から教育旅行を誘致することで、観光交流客数及び宿泊客数の増加と地域活性化を図る。	609	503	訪日教育旅行受入校数	12校	28校	S	積極的に市内学校へ呼びかけを行い、対面による学校交流28件を実施することができた。
3	2	③	観光政策課	静岡型体験観光推進事業	静岡ならではの自然や地域資源を活かした体験型観光プログラムの造成及び、小中学校等の教育旅行誘致に向けた企画、誘客活動、受入を推進し、観光誘客と交流促進を図る。	5,729	4,462	しずおか体験教育旅行会員施設利用者数	50,000人	41,452人	A	令和5年度の実績41,452名は、目標値に対して82.9%でB評価相当であるが、東海大学博物館の一般公開が終了するなど、受け皿が減少する中での実績であることとを考慮し、A評価とした。
3	2	③	中山間地振興課	中山間地移住促進事業 (のり内、オクシズ農林漁家民宿開業準備事業)	オクシズをPRすることにより、オクシズの住民と都市住民との交流人口を増加させ、オクシズの知名度の向上及び活性化を図るため、農林漁家民宿の開業に対して支援する。	400	0	空き家情報バンク経由での移住世帯件数	12件	13件	A	移住世帯件数は、積極的な情報発信を行った結果、目標を上回る利用件数となったものの、大規模な移住者増には至っていないためA評価とした。 (オクシズ農林漁家民宿開業準備事業補助金交付実績はなし)
3	2	③	農業政策課	蒲原畑総区域内公共用地活用事業	アグリチャレンジパーク蒲原(新規就農者向け研修ほ場及び農業体験広場)を活用し、新規就農者の育成や市民に対する農業の啓発を行う。また、イベントを通じて蒲原地区の魅力向上と情報発信を積極的に進める。	5,180	3,841	新規就農者の養成研修(年間)	30回	30回	A	研修は、栽培講習、経営講習を中心に年30回を計画的に実施することができた。
3	2	③	中山間地振興課	オクシズ元気ビジネス支援事業	中山間地域の活性化を促し、集落の維持を図るため、地域の産業、自然、文化などの資源を活用した「新たなビジネス」の実施及び準備にかかる経費の一部を助成する。	10,000	4,440	事業化件数	3件	3件	A	新メニューや土産品の開発、民宿開業に対する3件の支援を行うことで、地域への誘客に繋げることができた。
3	2	③	農業政策課	静岡市献上茶謹製事業	県の無形民俗文化財に指定されている「手揉製茶技術」を用いて手揉したお茶を市内へ献上することにより、当該技術や手揉茶、「お茶のまち静岡市」をPRし、茶文化の継承を図る。	3,694	2,283	献上茶謹製事業の確実な実施	実施	実施	A	献上茶謹製式典、宮内庁派遣、県知事訪問の全ての事業を実施し、手揉製の茶技術や手揉茶、「お茶のまち静岡市」をPRできた。
3	2	③	農業政策課	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー事業	「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入により、「お茶のまち静岡市」のブランディングを強化するとともに、タクシー乗務員に対して質の高い「おもてなし」の講習会を実施することにより、官民が連携して「観光誘客」、「交流人口」の増加を図る。	6,257	9,940	ラッピングタクシー導入台数	7台	7台	A	当初の計画どおり、7台のタクシーへ「お茶のまち静岡市」のラッピングを実施したため。

第2次静岡市農業振興計画 実施計画

【資料3-1】

●令和6年度重点事業は赤字、令和7年度新規・拡充取組予定事業は青字、再掲は緑字、○は令和6年度当初予算。

実施年度	基本計画(令和5年度～12年度)		基本方針	実施の方向	具体的な施策	前期実施計画(令和5年度までの4年間)	登録事業
	2030年の目標とする姿	基本方針					
Ⅰ 環境負荷低減と生産性向上が両立した持続可能な農と食の地域循環システムの構築	農産物の価値を共有する仕組みづくり	【提案力】	生産者と消費者が寄り添って取り組む推進	① 静岡市ブランドの確立・支援	○農業経営講座(280千円) ○農業先端技術導入支援事業(1,000千円) ○静岡市わさび振興方針推進事業(2,680千円)【拡充】 ○静岡市わさびの伝統栽培・世界農業遺産プロモーション事業(273千円) ○お茶のまち静岡市「プロモーション」事業(7,713千円) ○静岡市グリーン農業支援事業補助金(3,000千円) ○地域産品振興ブランド認証事業(3,028千円) ○いさぎと寄付受入推進事業(1,250,000千円) ○お茶の日記念事業(1,231千円) ○お茶のまち静岡市「推進事業(924千円)		
				② 環境に配慮した農業の拡大	○いさぎと農力チャレンジ事業(2,000千円) ○環境保全型農業対策支援事業(4,655千円) ○静岡市グリーン農業支援事業補助金(3,000千円) ○有機農業推進事業(15,151千円)【新規】【拡充】		
				③ 食の安全・安心の推進	○環境保全型農業対策支援事業(4,655千円) ○家畜伝染病予防対策(1,850千円) ○静岡県食肉センター再編整備事業負担金(5,476千円) ○静岡市グリーン農業支援事業補助金(3,000千円) ○蒲原郡緑区域内公共用地活用事業(5,680千円)		
				④ 脱炭素社会を認識した情報発信	○農水産物消費拡大促進事業(1,890千円) ○静岡市お茶の学校(357千円) ○静岡市グリーン農業支援事業補助金(3,000千円) ○有機農業推進事業(15,151千円)【新規】		
				⑤ 消費者目線のニーズに対応したもののづくり	○静岡市グリーン農業支援事業補助金(3,000千円) ○いさぎと都市農業推進事業補助金(18,500千円) ○多様な担い手育成支援事業(4,800千円)		
				⑥ 伝統作物や特産物などを活用した食文化の伝承	○静岡市お茶の学校(357千円) ○お茶の美味しい入れ方教室(3,475千円) ○静岡市わさび振興方針推進事業(2,680千円)【拡充】 ○「静岡市わさびの伝統栽培」世界農業遺産プロモーション事業(273千円)		
				⑦ 地域地消の推進による消費拡大	○農水産物消費拡大促進事業(1,890千円) ○学校給食における地場産物の活用(全体の一部) ○農業まつり・畜産まつり開催補助金(910千円) ○食育普及啓発推進事業(804千円) ○いさぎと都市農業推進事業補助金(18,500千円) ○生涯学習施設における講座の実施(指定管理料の一部) ○駿河区収蔵寮(区の魅力づくり事業)(754千円) ○茶殿路拡張事業(3,000千円)		
				⑧ 地産業との連携による新たな需要の開拓・支援	○「お茶のまち静岡市」ラッピングタワシ事業(3,906千円) ○健康・食品産業推進事業(2,000千円) ○オアシズ元気ビジネス支援事業(10,000千円)		
				⑨ 海外マーケットの開拓・支援	○中小企業海外展開支援事業(7,900千円) ○輸出拡大支援プラットフォーム構築事業(26,600千円)【新規】 ○お茶の輸出拡大支援事業(8,400千円)【拡充】		
				⑩ ビジネス競争を持った持続的で強い経営体の育成	○認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金(25,000千円) ○静岡市農業経営収入保険制度加入事業補助金(4,372千円) ○経営継承・発展等支援事業(6,000千円) ○農地利用効率化等支援交付金(6,000千円) ○いさぎと都市農業推進事業補助金(18,500千円) ○農産物機械継承支援事業(640千円) ○経営改善支援事業(1,245千円) ○多様な担い手育成支援事業(4,800千円) ○農業経営講座(280千円) ○農業近代化貸付利子補助金(1,571千円) ○農業共済組合負担金(10,199千円)		
Ⅱ 豊欲ある多様な担い手の確保・育成・支援				① 新たな担い手を確保・育成、支援を行う環境の整備	○認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金(25,000千円) ○新規就農者育成総合対策事業(44,250千円) ○農業次世代・人材育成投資事業(経営開始型)(11,250千円) ○経営継承・発展等支援事業(6,000千円) ○いさぎと都市農業推進事業補助金(18,500千円) ○蒲原郡緑区域内公共用地活用事業(5,680千円) ○静岡市農業経営収入保険制度加入事業補助金(4,372千円) ○農業用機械継承支援事業(640千円) ○多様な担い手育成支援事業(4,800千円) ○農業経営講座(280千円) ○やうやう静岡農業定着支援事業(10,000千円)【新規】 ○新規就農者育成に向けた取組【新規】		
				② 産地を支える多様な担い手の創出	○蒲原郡緑区域内公共用地活用事業(5,680千円) ○農業経営講座(280千円) ○経営継承・発展等支援事業(6,000千円) ○農業用機械継承支援事業(640千円) ○多様な担い手育成支援事業(4,800千円)		
				③ 意欲ある担い手等への農地集積の促進	○地域計画策定推進緊急対策事業(604千円) ○農地中間管理事業(1,745千円) ○荒廃農地再生・集積促進事業(955千円) ○茶園土改改良事業負担金(122,790千円) ○農地の集約化を促進する取組【新規】		
				④ 優良農地の適正管理の推進	○農地中間管理事業(1,745千円) ○農地利用状況・利用意向調査(2,000千円) ○農業振興地域整備計画の管理事務(889千円) ○生産継地制度の運用(7,600千円) ○荒廃農地再生・集積促進事業(6,600千円)		
				⑤ 生産基盤整備の推進と維持管理	○農道等新設改良事業(100,700千円) ○茶産地総合対策事業(24,800千円) ○茶園集積地推進事業(955千円) ○県営土地改良事業負担金(122,790千円) ○多面的機能支払交付金事業(41,197千円)		
				⑥ 環境負荷低減に資する取組への支援	○環境保全型農業対策支援事業(4,655千円) ○農業先端技術導入支援事業(1,000千円) ○静岡市グリーン農業支援事業補助金(3,000千円) ○いさぎと都市農業推進事業補助金(18,500千円) ○有機農業推進事業(15,151千円)【新規】		
				⑦ 官・民・学との連携による生産体制の確立	○静岡県果樹研究センター誘致事業(1,200千円) ○有機農業推進事業(15,151千円)【新規】		
				⑧ 先端技術等を活用した施設・機械の整備	○静岡県食肉センター再編整備事業負担金(5,476千円)		
				⑨ 農地や農村環境保全の推進	○多面的機能支払交付金事業(41,197千円) ○いさぎと都市農業推進事業(18,500千円)		
				⑩ 持続可能な環境保全型農業の推進	○環境保全型農業対策支援事業(4,655千円) ○農業先端技術導入支援事業(1,000千円) ○静岡市グリーン農業支援事業補助金(3,000千円) ○有機農業推進事業(15,151千円)【新規】		
Ⅲ 農村の多面的機能の維持	農村の多面的機能の維持			① 有書鳥獣対策の推進	○野生鳥獣被害対策事業(1,27,642千円)		
				② 地域づくりにつながる人材の育成・支援	○地域おこし協力隊事業(31,426千円) ○「農・福・連携」の推進事業(一千万円) ○オアシズの食と農の魅力向上事業(5,600千円)【新規】		
				③ 産地づくりの強化	○お茶の美味しい入れ方教室(3,475千円) ○静岡市わさび振興方針推進事業(2,680千円)【拡充】 ○やうやう静岡農業定着支援事業(10,000千円)【新規】		
				④ 人々の交流による農山村の発展	○オアシズスポートツーリズム促進事業(3,000千円) ○訪日教育旅行誘致促進事業(309千円) ○静岡型体験観光推進事業補助金(3,929千円) ○中山間地域移住促進事業(400千円) ○蒲原郡緑区域内公共用地活用事業(5,680千円) ○オアシズ元気ビジネス支援事業(10,000千円) ○静岡市わさび振興方針推進事業(2,680千円)【拡充】 ○「お茶のまち静岡市」ラッピングタワシ事業(3,906千円) ○オアシズの食と農の魅力向上事業(5,600千円)【新規】		

みんなでつながるしずおか農業、経済と環境が調和した魅力ある農業、

第2次静岡市農業振興計画実施計画の令和6年度重点事業

【資料3-2】

No	基本方針	基本計画		(1)所管課	(2)事業名	(3)事業内容	(4)事業概要	(5)予算			
		施策の方向	具体的な施策					【R6当初】予算額 (千円)	財源		
									国	県等	市
1	1	1	①	農業政策課	静岡市わさび振興方針推進事業【拡充】	本市の重要な農産物であるわさびを、産業として継承し推進していくための施策を実施する。	1 市内における優良わさび苗の生産等の支援 2 市内産わさびのPR	2,680	0	0	2,680
	1	2	③								
	3	2	②								
	3	2	③								
2	1	1	②	農業政策課	有機農業推進事業【新規】	環境負荷低減と生産性向上のため、有機農業施策を推進する。	1 有機栽培への転換支援 ・有機栽培の技術及び制度の知識習得に対する支援 2 資源循環システムの構築 ・市内資源を活用した有機栽培に使用できる堆肥を製造 3 作業労力の軽減 ・学術機関との連携による軽労力化に向けた実地試験の実施 4 高価格・安定的販売環境の整備 ・学校給食における有機農産物利用の調整及び関係者と連携した新規販売ルートの拡大	15,151	10,000	0	5,151
	1	2	①								
	2	3	②								
	3	1	②								
3	1	3	③	農業政策課	輸出拡大支援プラットフォーム構築事業【新規】	輸出拡大を図るため、海外拠点(プラットフォーム)を構築し、商談成立に向けた支援を実施する。	1 商談会の開催 ・5市2町で輸出に取り組む国を決定し、商談会の開催 2 営業窓口の設置 ・現地に拠点を設け、営業代行の実施 ・商談成立後の契約・納品までのサポートの実施 3 営業ソールの制作 ・営業用のランディングページ等の作成	26,600	0	0	26,600
4	1	3	③	農業政策課	お茶の輸出拡大支援事業【拡充】	茶の輸出拡大を図るため、現地エージェントによる営業代行及びフォローアップを実施する。	1 営業窓口の設置 ・現地に拠点を設け、営業代行の実施 2 営業ソールの制作 ・営業用のランディングページ等の作成	8,400	0	0	8,400
5	2	1	②	農業政策課	やろうよ静岡農業定着支援事業【新規】	新規就農者の定着に向けた研修生を受け入れ、育成する作物部会等への支援を実施する。	1 JAの作物部会等に対する支援 ・新規就農希望者を研修生として受け入れていく体制を確立するための支援 2 新規就農予定者に対する支援 ・研修終了後から農業経営を開始するまでの就農準備に係る支援	10,000	0	0	10,000
	3	2	②								
6	3	1	③	中山間地振興課	野生鳥獣被害対策事業【継続】	農林業経営の維持のため、野生鳥獣による農林産物への被害を防ぐ対策に要する費用を支援する。	1 野生鳥獣被害防除事業 2 有害鳥獣捕獲に対する支援 3 野生動物被害対策研究協議会への助成 4 有害鳥獣被害防除活動への支援 5 有害鳥獣被害対策地区協議会への助成 6 鳥獣被害対策緩衝地帯整備モデル事業	127,642	21,085	10,644	95,913
7	3	2	①	中山間地振興課	オクズンの食と農の魅力向上事業【新規】	ABCフッキングスタジオからばけんされた地域活性化起業人と連携し、各地域の特産品を扱う加工販売所等の事業継続に向けた取組や、新商品開発、特産品PRの支援を行う。	1 各施設への起業人の派遣による支援、改善策の検討 2 特産品を活かした新商品開発や料理教室等 3 イベントの開催 4 地域の特産品をはじめとした「食」のPRや情報発信	5,600	0	0	5,600
	3	2	③								

令和7年度は、市農業の課題である「環境負荷低減の取組が進んでいない、農業所得が低いことによる就農意欲の低下、高齢化等による担い手の減少」に対して、これまでの取組に加え、「**有機農業の推進**」、「**農地の有効活用**」、「**新規就農者の育成**」の取組をより一層推進し、課題の解決を図っていく。

現状課題

- ①生産者、販売業者など関係者が協議・連携する仕組みや生産の推進体制が不十分。
- ②高価格・安定的に取引される販路が十分に確保されていない。
- ③有機農業は、一般の栽培と比較し手間がかかり、収量が減少しやすく、栽培指針や経営データの不足。

- ①農地面積が小さく、点在していることも多く、貸借や売買の調整にも時間を要することから、担い手に農地の集積・集約が進んでいない。
- ②小規模な農地では、機械化等による生産性の向上が難しく、収益増加につなげられていない。

- ①既存の農業では十分な収入が得られず離農することや就農意欲の低下。
- ②高齢化や後継者がいないことに加え、新規参入が少ない。
- ③農業経営の開始初期段階から「儲かる」ことができる新規就農希望者向けのシステム化された研修スキームがない。

方向性

有機農業をはじめとする環境負荷低減と循環型農業の推進

意欲ある担い手への農地集約の推進

新たな新規就農者育成システムの構築

取組予定

■有機農業の推進

(1)有機転換の支援
有機転換や有機栽培の普及を図るため、先駆的な取組を実践する圃場を公開し、活用する。また、そこで生産された農産物を学校給食へ供給する。

(2)有機茶経営モデルの構築
技術指導、栽培マニュアルの作成のため、モデル圃場で、栽培実証、生産コスト調査、経営収支調査を行う。

(3)資源循環を踏まえた肥料の開発
残渣を活用した有機農業に適した肥料の開発と利用指針の作成を行う。また、廃棄果実を活用した資源循環肥料の試作を行う。

(4)高価格・安定販売環境の整備
販路の拡大、開拓に向けた、生産側と流通、小売事業者等とのマッチングや、理解促進等のため、オーガニックマルシェを開催する。

■未利用・低利用の農地集約の推進

- ・地域計画の策定に向けた意向調査や「協議の場」などを通じて確認された農地所有者や耕作者の意向に基づき、農地の集積・集約を特に進める区域を設定し、一般財団法人静岡市土地等利活用推進公社(※)との連携により農地集約を進める。
- ・集約する農地を農地中間管理機構を通じて売却または貸付した農地所有者や耕作地を移転する農業者に対して支援することと、認定農業者や農業法人など意欲ある担い手の規模拡大に繋げていく。

(※)公社について
市内の土地等の新たな利活用を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的に、農地の集約化や産業用地の確保、空き家の活用促進を行うため、市が新たに設立した法人。令和6年9月から業務を開始。

■「儲かる農業」の実現に向けた取組

- ・新規就農希望者を受け入れ、生産や経営に関する研修を実施し、就農に至るまでを一体的に支援するシステムを構築する。
- ・新規就農希望者が研修に専念できるように研修環境を整備し、研修期間中の生活を支援するほか、就農に向け基盤整備(農地・施設等)を行う。

(1)トレーニングファームの創設

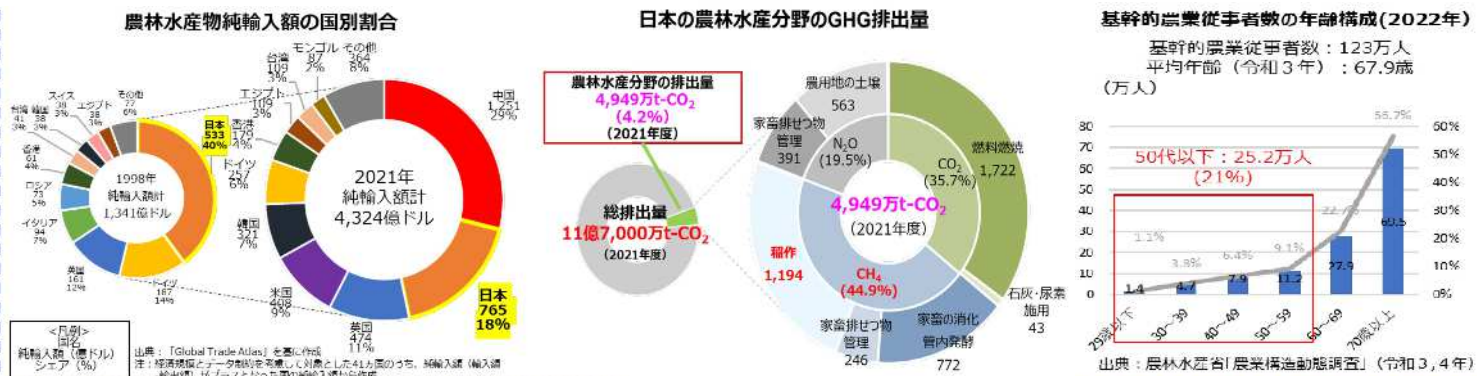
新規就農希望者自らが模擬的な経営を行いつながりながら生産技術等を習得し、経営開始直後から「儲かる農業」を実現する研修を行う。併せて研修期間中の生活や、就農地や施設等の経営基盤の整備についても支援する。

(2)法人の研修生受け入れ体制の構築

法人が就農を希望する研修生を受け入れ、自社の借り受けした農地で研修を実施する。研修期間中の生活や経営基盤の整備についても支援する。

背景

- 近年における世界の食料需給の変動、地球温暖化の進行、我が国における人口の減少その他の食料、農業及び農村をめぐる諸情勢の変化に対応し、食料安全保障の確保、環境と調和のとれた食料システムの確立、農業の持続的な発展のための生産性の向上、農村における地域社会の維持等を図るため、基本理念を見直すとともに、関連する基本的施策を定める。



法律の概要

食料安全保障の確保

- 基本理念について、**
 - 「食料安全保障の確保」を規定し、その定義を「良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、かつ、国民一人一人がこれを入手できる状態」とする。（第2条第1項関係）
 - 国民に対する食料の安定的な供給に当たっては、農業生産の基盤等の確保が重要であることに鑑み、国内への食料の供給に加え、海外への輸出を図ることで、農業及び食品産業の発展を通じた食料の供給能力の維持が図られなければならない旨を規定。（第2条第4項関係）
 - 食料の合理的な価格の形成については、需給事情及び品質評価が適切に反映されつつ、食料の持続的な供給が行われるよう、農業者、食品事業者、消費者その他の食料システムの関係者によりその持続的な供給に要する合理的な費用が考慮されるようにしなければならない旨を規定。（第2条第5項関係）
- 基本的施策として、**
 - 食料の円滑な入手（食品アクセス）の確保（輸送手段の確保等）、農産物・農業資材の安定的な輸入の確保（輸入相手国の多様化、投資の促進等）（第19条及び第21条関係）
 - 収益性の向上に資する農産物の輸出の促進（輸出産地の育成、生産から販売までの関係者が組織する団体（品目団体）の取組促進、輸出の相手国における需要の開拓の支援等）（第22条関係）
 - 価格形成における費用の考慮のための食料システムの関係者の理解の増進、費用の明確化の促進等を規定。（第23条及び第39条関係）

環境と調和のとれた食料システムの確立

- 新たな基本理念として、食料システムについては、食料の供給の各段階において環境に負荷を与える側面があることに鑑み、その負荷の低減が図られることにより、環境との調和が図られなければならない旨を規定。（第3条関係）
- 基本的施策として、農業生産活動、食品産業の事業活動における環境への負荷の低減の促進等を規定。（第20条及び第32条関係）

農業の持続的な発展

- 基本理念において、生産性の向上・付加価値の向上により農業の持続的な発展が図られなければならない旨を追記。（第5条関係）
- 基本的施策として、効率的かつ安定的な農業経営以外の多様な農業者による農地の確保、農業法人の経営基盤の強化、農地の集団化・適正利用、農業生産の基盤の保全、先端的な技術（スマート技術）等を活用した生産性の向上、農産物の付加価値の向上（知財保護・活用等）、農業経営の支援を行う事業者（サービス事業者）の活動促進、家畜の伝染性疾患・有害動植物の発生予防、農業資材の価格変動への影響緩和等を規定。（第26条から第31条まで、第37条、第38条、第41条及び第42条関係）

農村の振興

- 基本理念において、地域社会が維持されるよう農村の振興が図られなければならない旨を追記。（第6条関係）
- 基本的施策として、農地の保全に資する共同活動の促進、地域の資源を活用した事業活動の促進、農村への滞在機会を提供する事業活動（農泊）の促進、障害者等の農業活動（農福連携）の環境整備、鳥獣害対策等を規定。（第43条から第49条まで関係）

令和6年度 静岡市の農業等に関するアンケート調査結果について

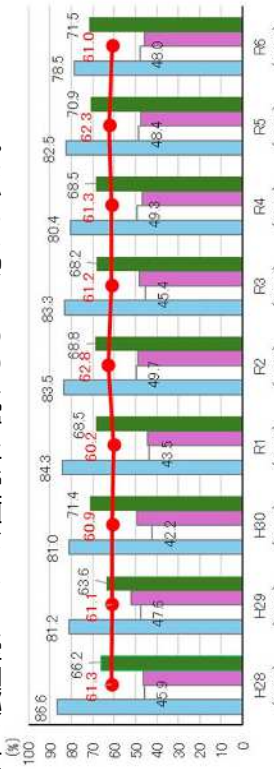
【参考2】

(1) 調査概要

調査内容	本市農業(「農産物」、「就農」、「環境」等)の市民意識調査(全21問)
調査対象	無作為に抽出された18歳以上の市民1,000人
調査方法	調査票は郵送、回答方法は返信又はWebによるアンケート調査
調査期間	令和6年7月2日から7月24日まで
回収件数	400件(回収率:40.0%) ※内、Web回答89件(全体22.2%)

(2) 農産物について

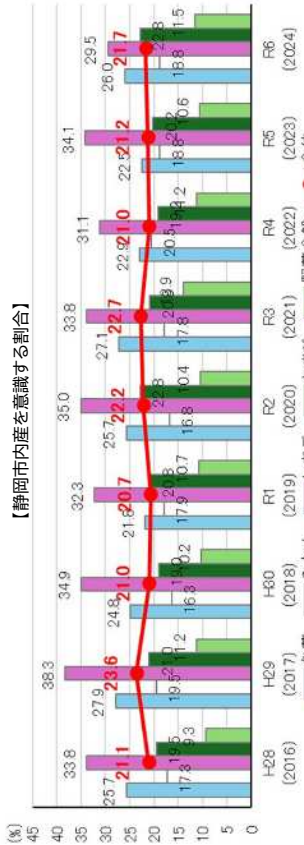
①静岡市の農産物について、国内外に誇れるものと思いますか。



<集計結果>

「お茶」が78.5%と最も高く、「わさび」71.5%、「みかん」48.0%、「いちご」45.8%。全体では、61.0%。
→作物毎の順位に変動は無く、全体は横ばい。

②農産物を購入する際、表示されている生産地を意識していますか。



<集計結果>

「いちご」が29.5%と最も高く、「お茶」26.0%、「わさび」22.8%、「みかん」18.8%、「野菜全般」11.5%。全体では、21.7%。
→野菜全般的割合が10%代と平均を大きく下回っている。

<今後の取組>

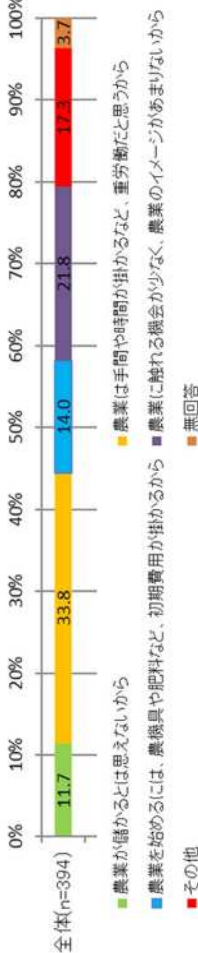
JALみず「JA静岡市や生産・販売業者など関係機関と連携を図りながら、消費者の意識醸成を促していく。

(3) 就農について

①今後、農業をやってみたいと思いますか。



②「農業をやってみたいと思わない」理由は、



<集計結果>

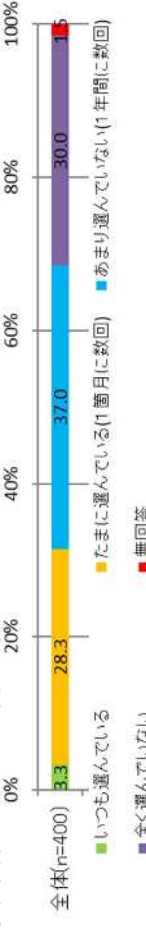
「農業をやってみたいと思わない」が66.0%で、その理由は「農業は重労働だから」33.8%、「農業のイメージがあまりない」21.8%、「初期費用がかかる」14.0%の順番に多い。

<今後の取組>

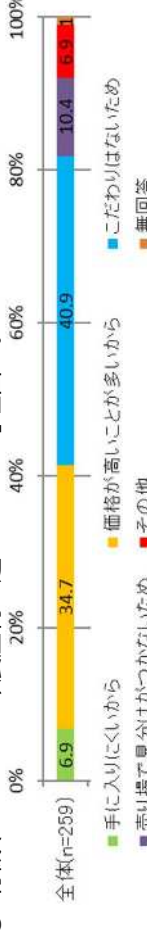
生産基盤の整備や農地の集約・集積による軽労化・効率化を図るなどとともに、ほ場を活用した農業体験などを通じて農業に触れる機会を創出していく。

(4) 環境について

①有機(オーガニック)農産物を選んでいきますか。



②「有機(オーガニック)農産物を選んでいない」理由は、



<集計結果>

「あまり選んでいない」、「全く選んでいない」が67.0%で、その理由は「こだわりのないため」40.9%、「価格が高いことが多い」34.7%、「売り場で見分けがつかない」10.4%の順番に多い。

<今後の取組>

関係機関と連携を図りながら、消費者の理解を深めるとともに、有機農業の生産者や耕作地の拡大、販路の確保に向けた取組を推進していく。

「静岡市の農業等に関するアンケート調査」

静岡市では、令和5年3月に策定した『第2次 静岡市農業振興計画』に基づき、関係団体と協力し、様々な農業振興に関する取組を行っています。

例年調査として、市民意識等を把握し、今後の取組の参考とするため、今年度調査を行った。

1. 調査の概要

調査対象	無作為に抽出された18歳以上の市民の方1,000人を対象に実施
調査方法	調査票は郵送、回答方法は返信又はWebによるアンケート調査（全21問）
調査期間	令和6年7月2日から7月24日まで
回収件数	400件（回収率：40.0%） ※内、Web回答89件（全体22.2%）

2. 回答者の属性

(1) 居住区

行政区では、「葵区」36.5%、「駿河区」27.7%、「清水区」35.3%となっています。

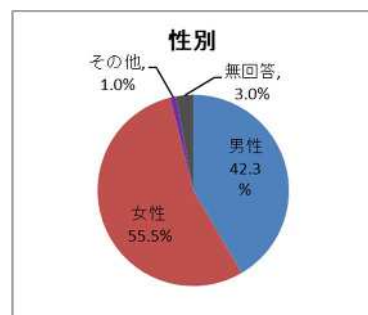
	回答数	葵区	駿河区	清水区	無回答
合 計	400	139	110	148	3
	100.0%	34.8%	27.5%	37.0%	0.8%



(2) 性別

性別では、「男性」42.3%、「女性」55.5%となっています。

	回答数	男性	女性	その他	無回答
合 計	400	169	222	4	5
	100.0%	42.3%	55.5%	1.0%	3.0%



(3) 年代

年代では、「70代」20.5%が最も多く、「50代」・「60代」の順となっています。

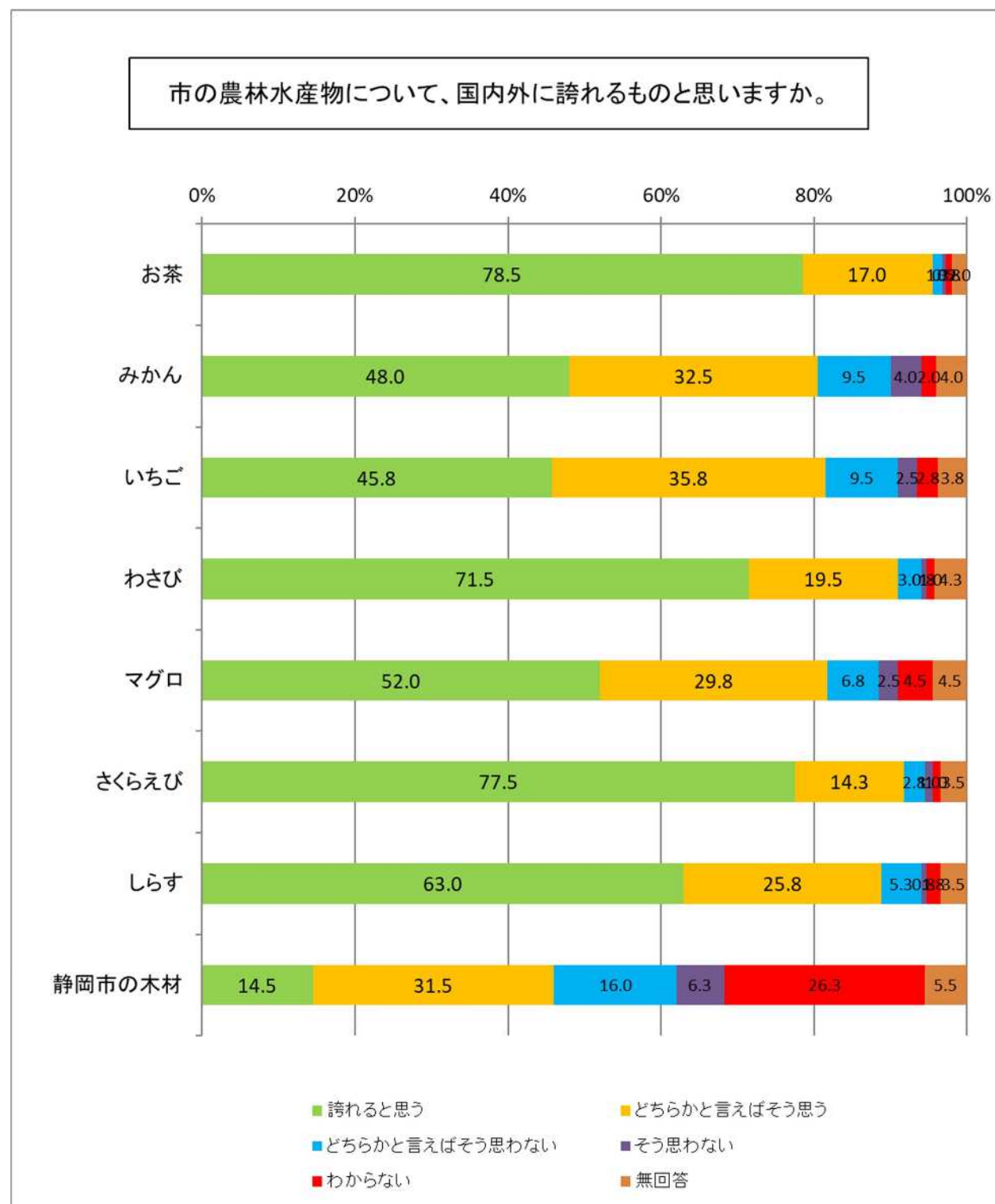
	回答数	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
合 計	400	28	40	52	74	70	82	52	2
	100.0%	7.0%	10.0%	13.0%	18.5%	17.5%	20.5%	13.0%	0.5%



3. 調査結果・概要

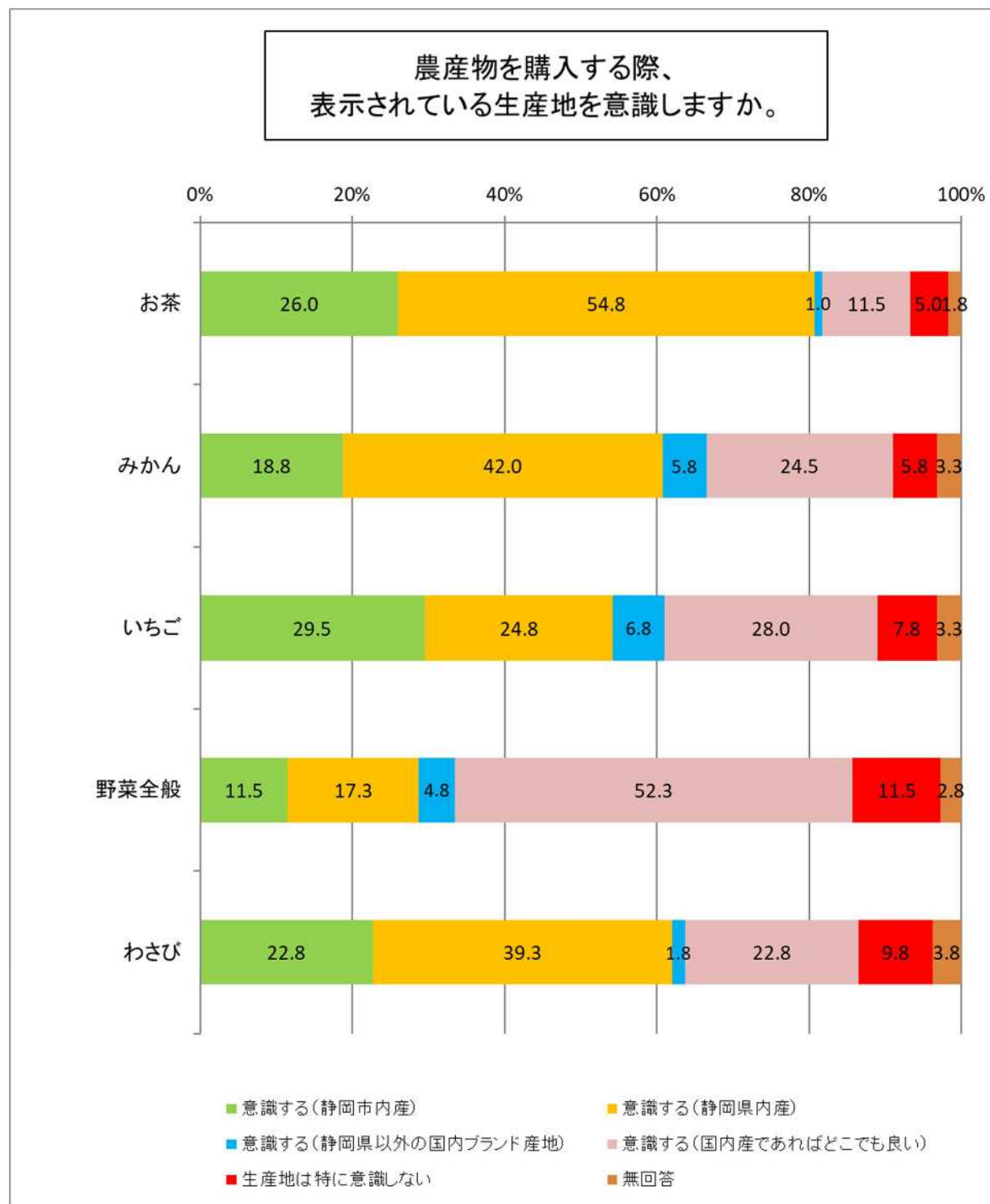
問1 以下の静岡市の農林水産物について、あなたは、国内外に誇れるものと思いますか。
(番号に一つだけ○をつけてください。)

「誇れると思う」と回答した割合は、「お茶」が78.5%と最も高く、「さくらえび」77.5%、「わさび」71.5%、「しらす」63.0%、「マグロ」52.0%、「みかん」48.0%、「いちご」45.8%、「静岡市の木材」14.5%となっています。農産物全体(お茶、みかん、いちご、わさび)では、61.0%となっています。



問2 以下の農産物を購入する際、あなたは、表示されている生産地を意識しますか。
(番号に一つだけ○をつけてください。)

「市内産を意識する」と回答した割合は、「いちご」が29.5%と最も高く、「お茶」26.0%、「わさび」22.8%、「みかん」18.8%、「野菜全般」11.5%となっています。全体では、21.7%となっています。



問3 【問2で「生産地を意識する」に一つでも○をつけた方に伺います。】

普段、あなたはどこで農産物を購入しますか。

(番号に一つだけ○をつけてください。)

「スーパーマーケット等の生鮮食品売り場で購入する」75.7%と最も多く、「産地直売所（じまん市やふれっぴー等のファーマーズマーケット）で購入する」18.5%、「無人販売で購入する」1.7%、「インターネットを利用して購入する」0.6%となっています。

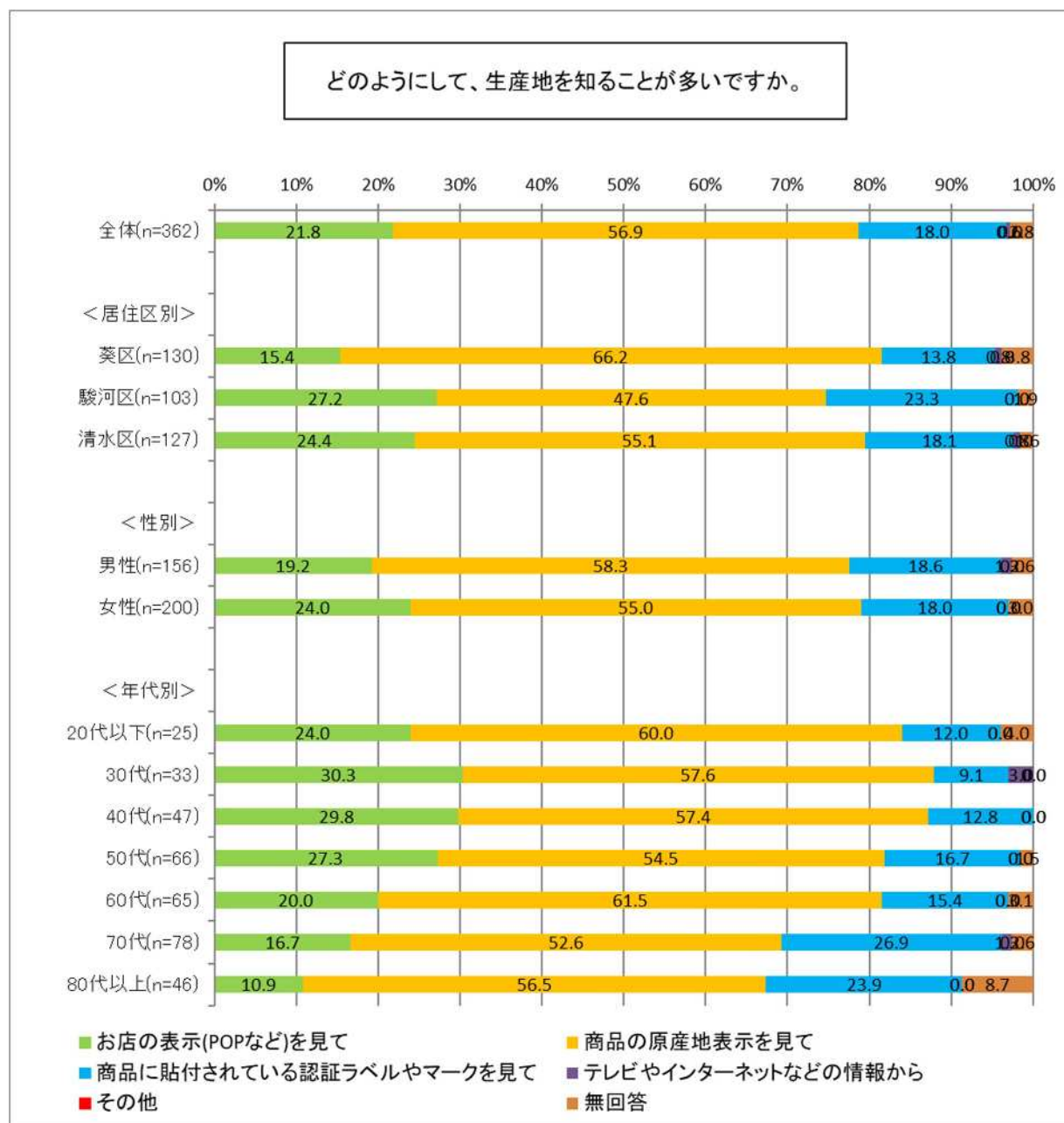


問4 【Q2で「生産地を意識する」に一つでも○をつけた方に伺います。】

どのようにして、生産地を知ることが多いですか。

(番号に一つだけ○をつけてください。)

「商品の原産地表示を見て」56.9%と最も多く「お店の表示（POPなど）を見て」21.8%、「商品に貼付されている認証ラベルやマークを見て」18.0%、「テレビやインターネットなどの情報から」0.6%となっています。

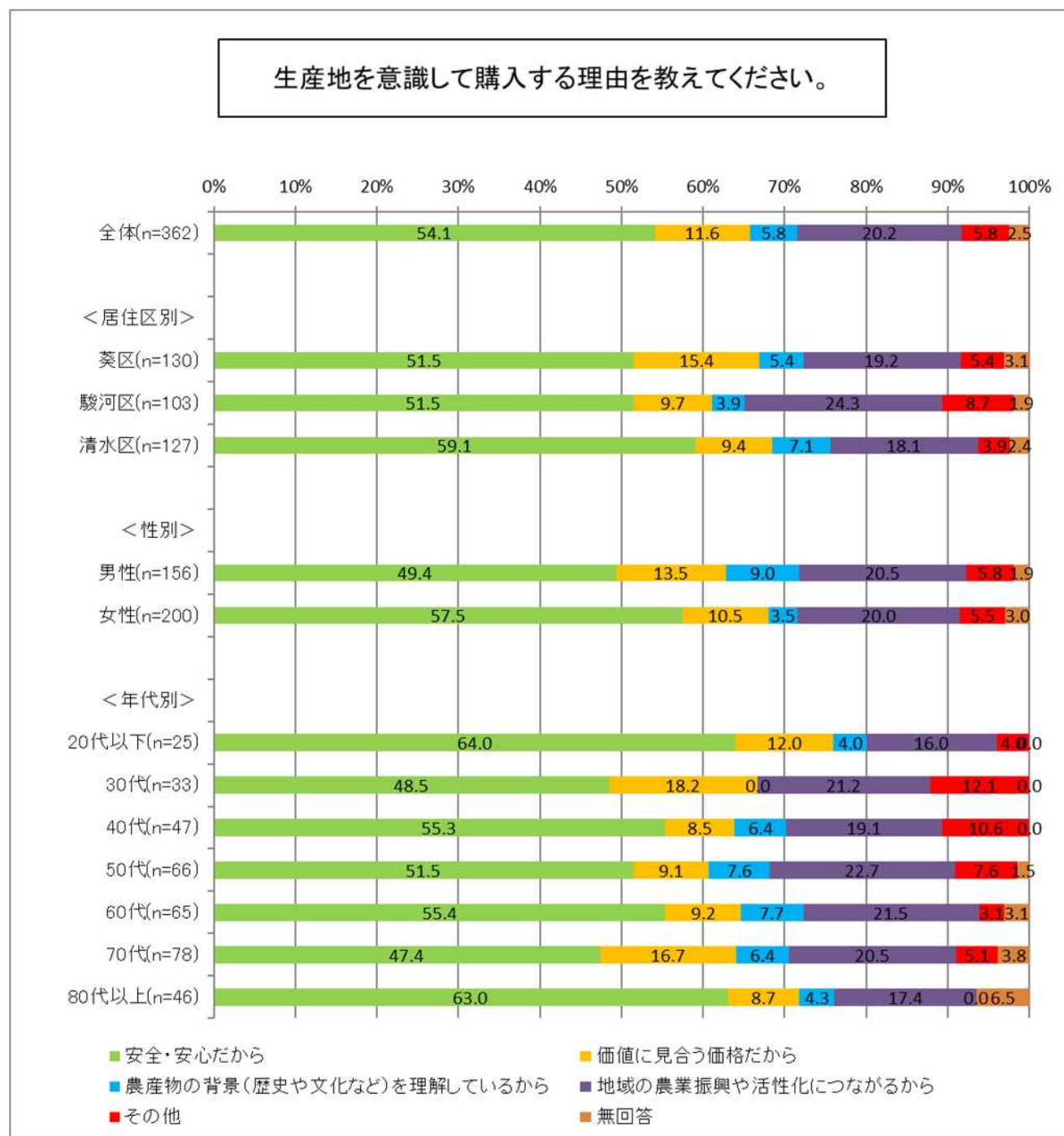


問5 【Q2で「生産地を意識する」に一つでも○をつけた方に伺います。】

生産地を意識して購入する理由を教えてください。

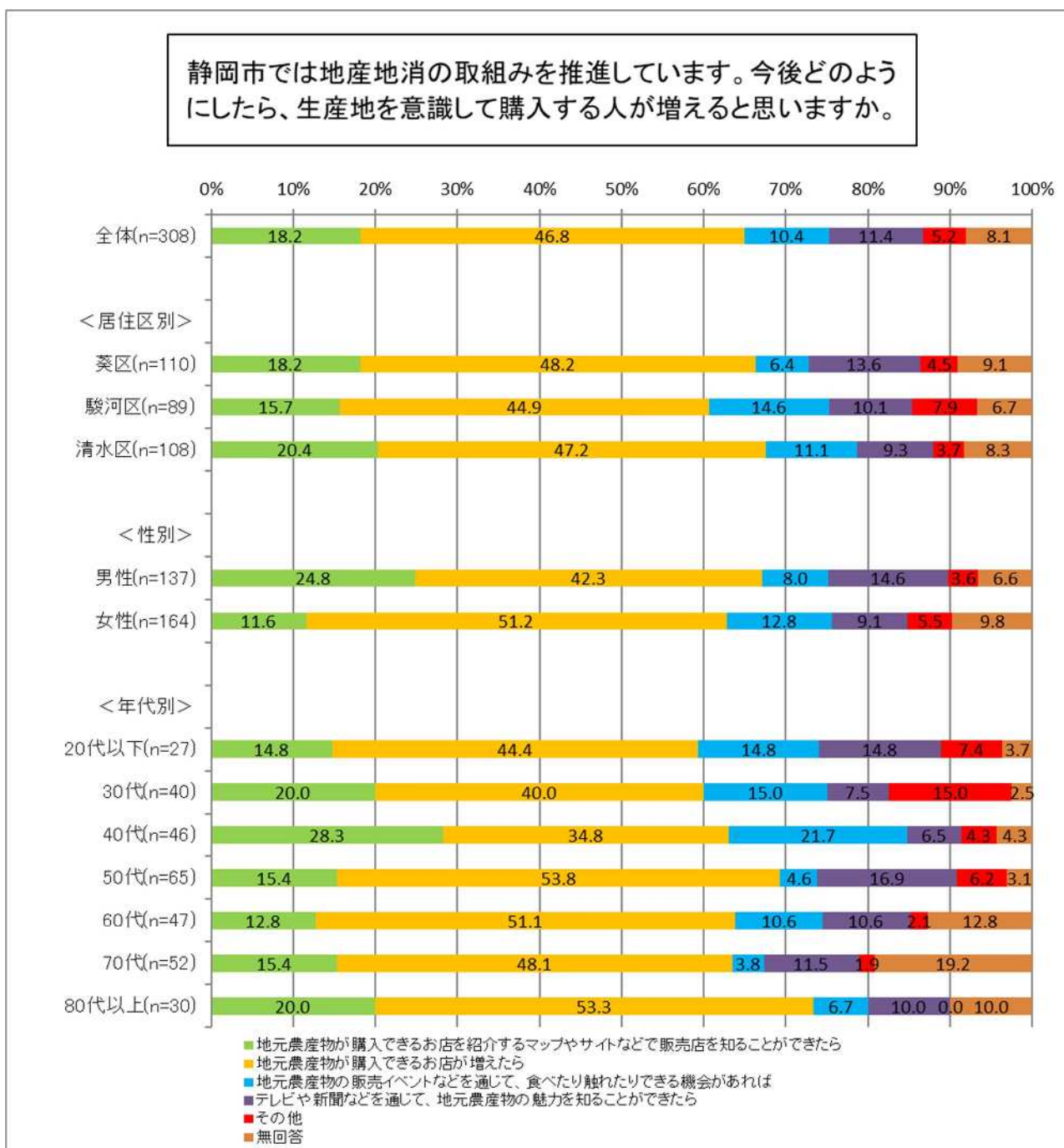
(番号に一つだけ○をつけてください。)

「安全・安心だから」54.1%と最も多く「地域の農業振興や活性化につながるから」20.2%、「価値に見合う価格だから」11.6%、「農産物の背景（歴史や文化など）を理解しているから」5.8%となっています。



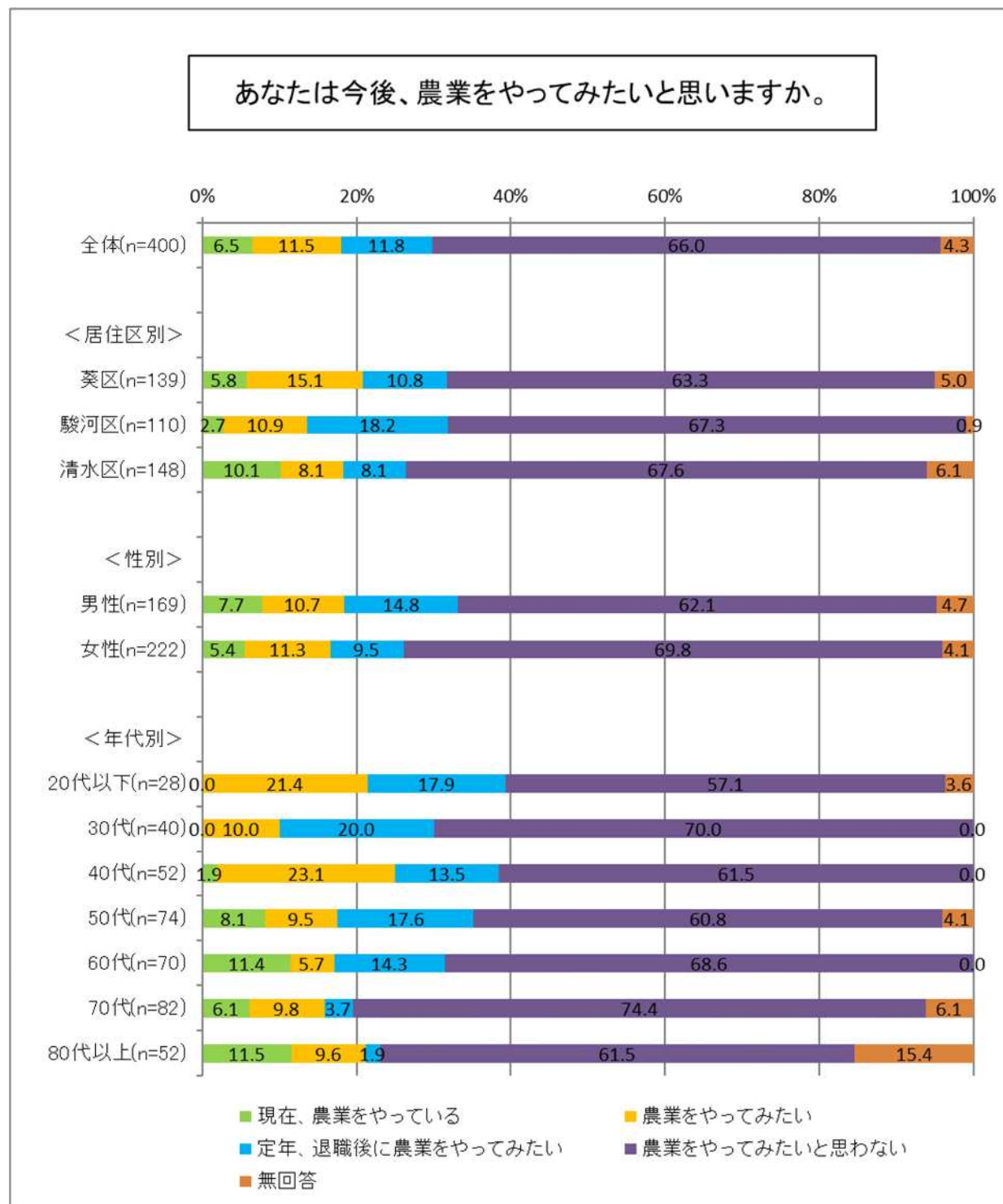
問6 【Q2で「4 国内産、5 特に意識していない」に一つでも○をつけた方に伺います。】
 静岡市では地産地消の取組みを推進しています。
 今後どのようにしたら、生産地を意識して購入する人が増えると思いますか。
 (番号に一つだけ○をつけてください。)

「地元農産物が購入できるお店が増えたら」46.8%と最も多く、「地元農産物が購入できるお店を紹介するマップやサイトなどで販売店を知ることができたら」18.2%、「テレビや新聞などを通じて、地元農産物の魅力を知ることができたら」11.4%、「地元農産物の販売イベントなどを通じて、食べたり触れたりできる機会があれば」10.4%となっています。



問7 あなたは今後、農業をやってみたいと思いますか。
(番号に一つだけ○をつけてください。)

「農業をやってみたいと思わない」66.0%と最も多く、「定年、退職後に農業をやってみたい」11.8%、「農業をやってみたい」11.5%、「現在、農業をやっている」6.5%となっています。

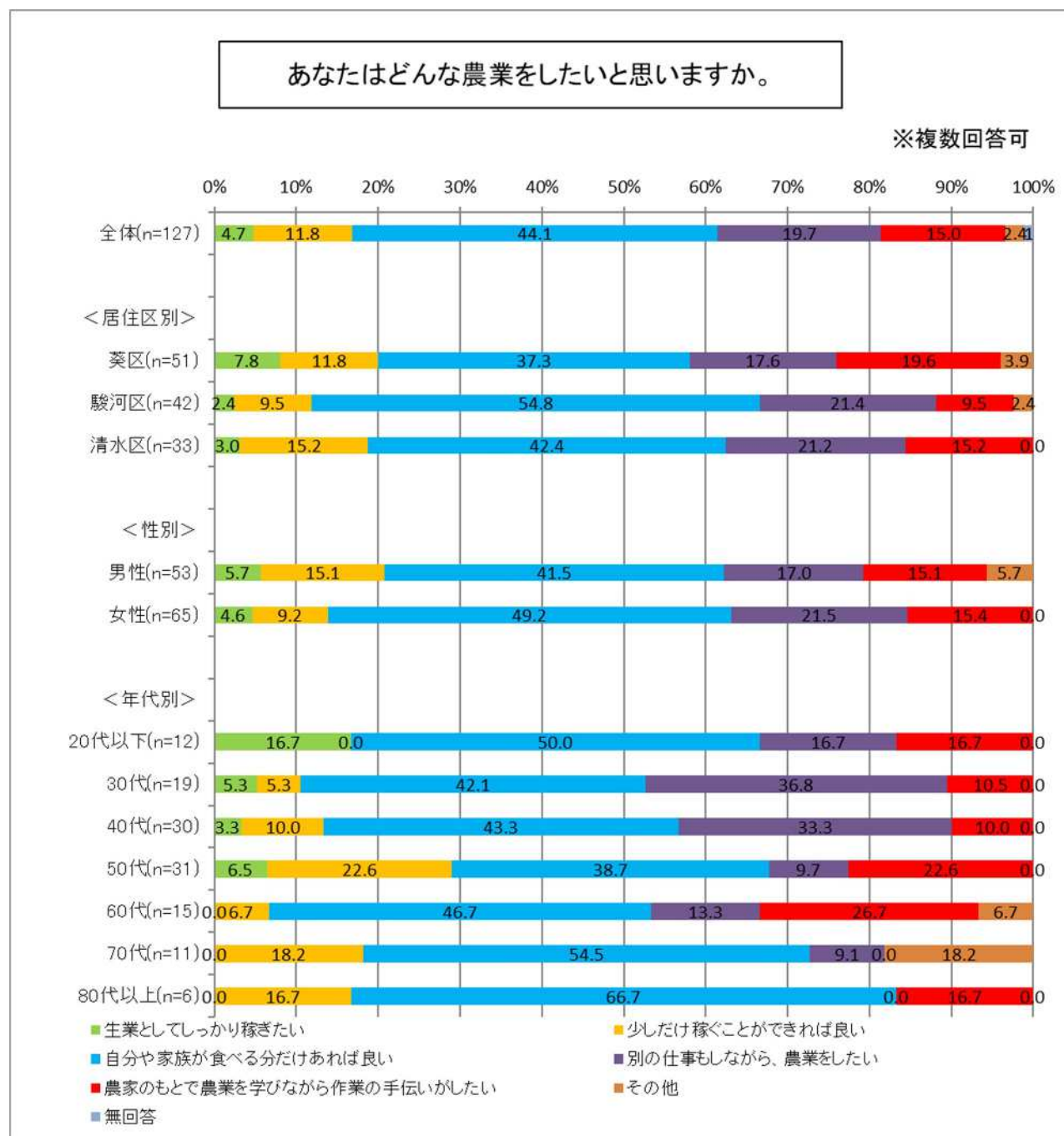


問8 【問7で「2. 3」と回答した方にお伺いします。】

あなたはどんな農業をしたいと思いますか。

(番号にいくつでも○をつけてください。複数回答可)

「自分や家族が食べる分だけあれば良い」44.1%と最も多く、「別の仕事もしながら、農業をしたい」19.7%、「農家のもとで農業を学びながら作業の手伝いがしたい」15.0%、「少しでも稼ぐことができれば良い」11.8%、「生業としてしっかり稼ぎたい」4.7%となっています。

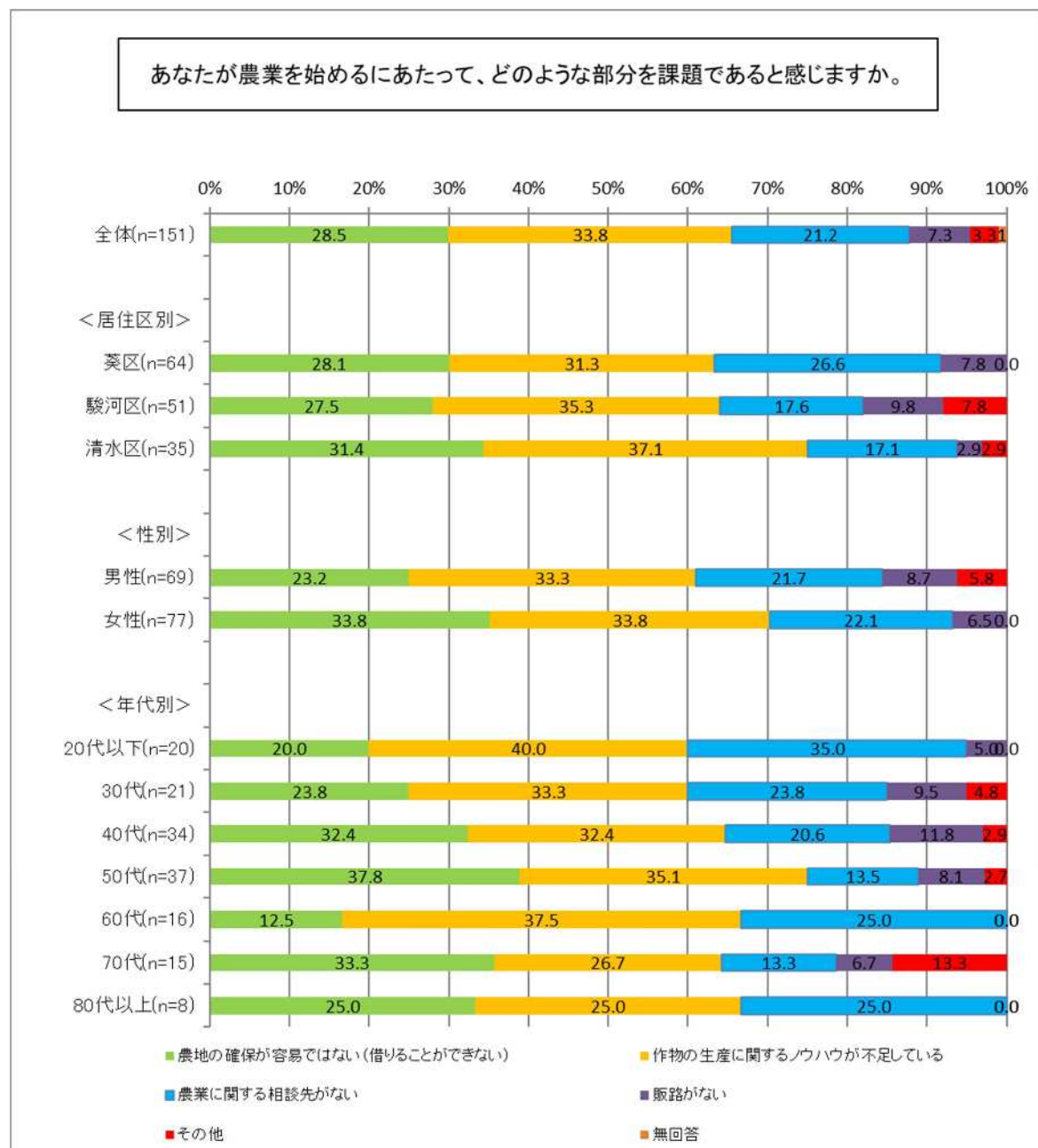


問9 【問7で「2. 3」と回答した方にお伺いします。】

あなたが農業を始めるにあたって、どのような部分を課題と感じますか。

(番号にいくつでも○をつけてください。複数回答可)

「作物の生産に関するノウハウが不足している」33.8%と最も多く、「農地の確保が容易ではない（借りることができない）」28.5%、「農業に関する相談先がない」21.2%、「販路がない」7.3%となっています。

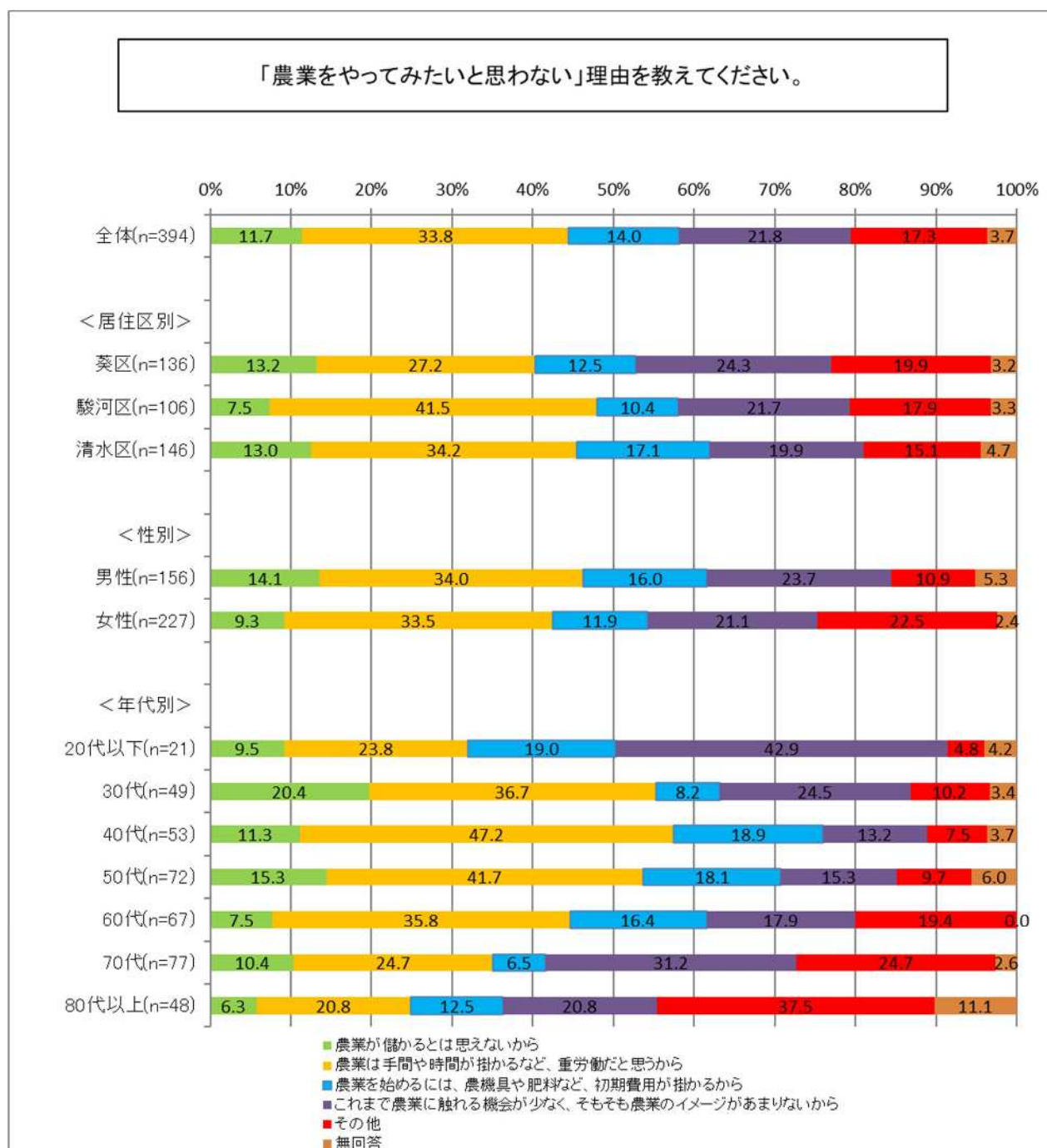


問10 【問7で「4」と回答した方にお伺いします。】

「農業をやってみたいと思わない」理由を教えてください。

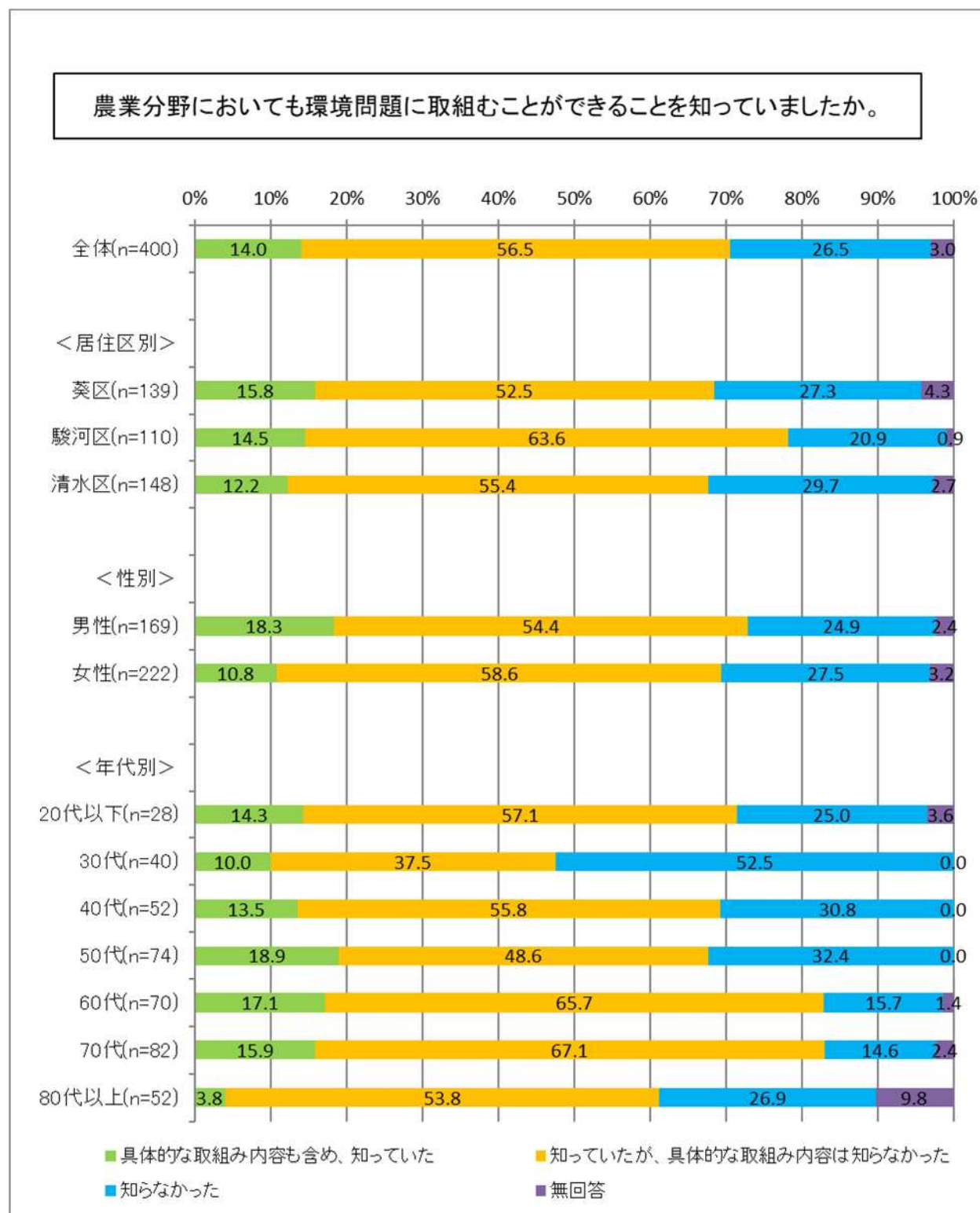
(番号にいくつでも○をつけてください。複数回答可)

「農業は手間や時間が掛かるなど、重労働だと思うから」33.8%と最も多く、「これまで農業に触れる機会が少なく、そもそも農業のイメージがあまりないから」21.8%、「農業を始めるには、農機具や肥料など、初期費用が掛かるから」14.0%、「農業が儲かるとは思えないから」11.7%となっています。



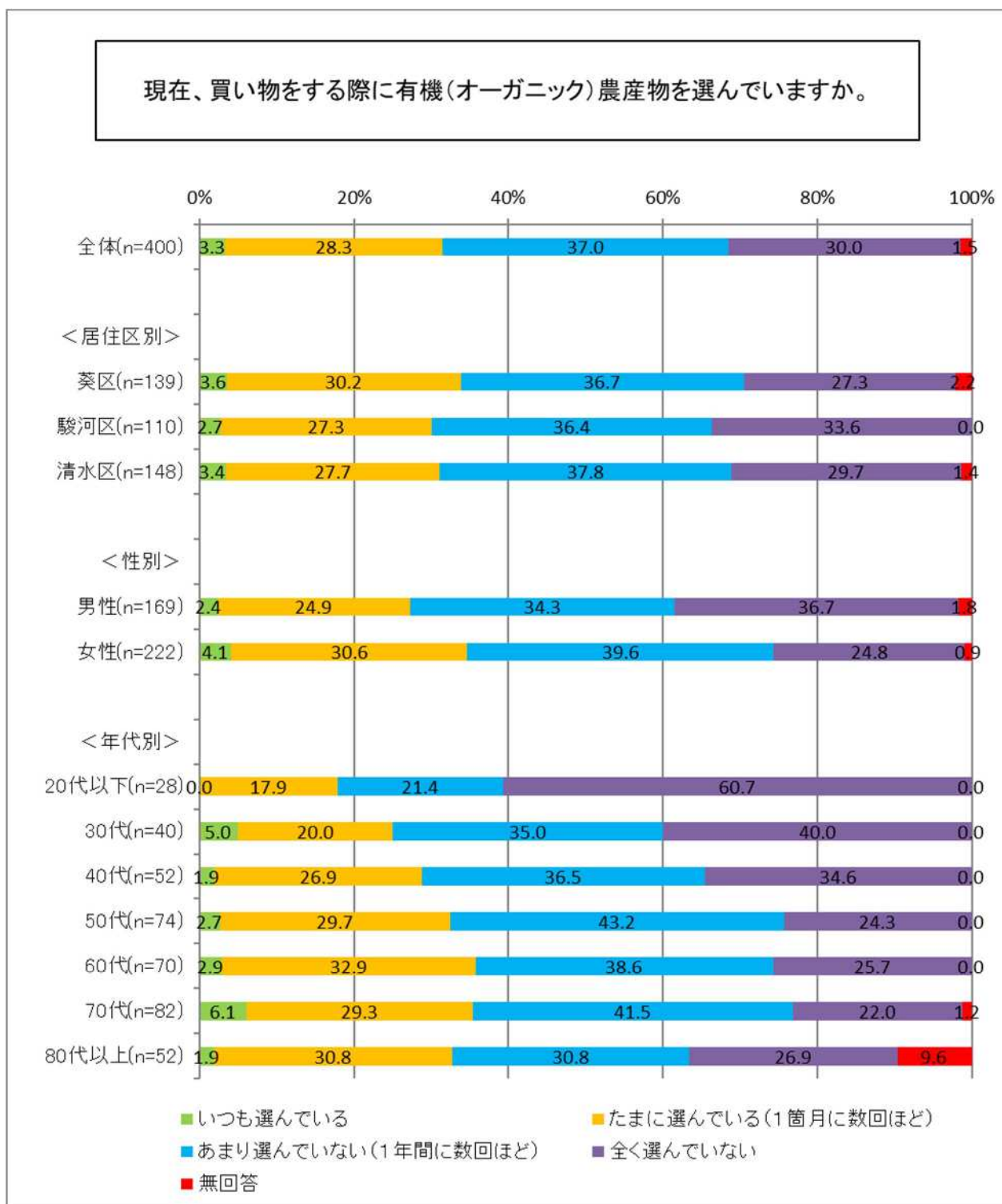
問１１ 農業分野においても環境問題に取り組むことができることを知っていましたか。
(番号に一つだけ○をつけてください。)

「知っていたが、具体的な取組み内容は知らなかった」56.5%と最も多く、「知らなかった」26.5%、「具体的な取組み内容を含め、知っていた」14.0%となっています。



問12 現在、買い物をする際に有機（オーガニック）農産物を選んでいますか。
（番号に一つだけ○をつけてください。）

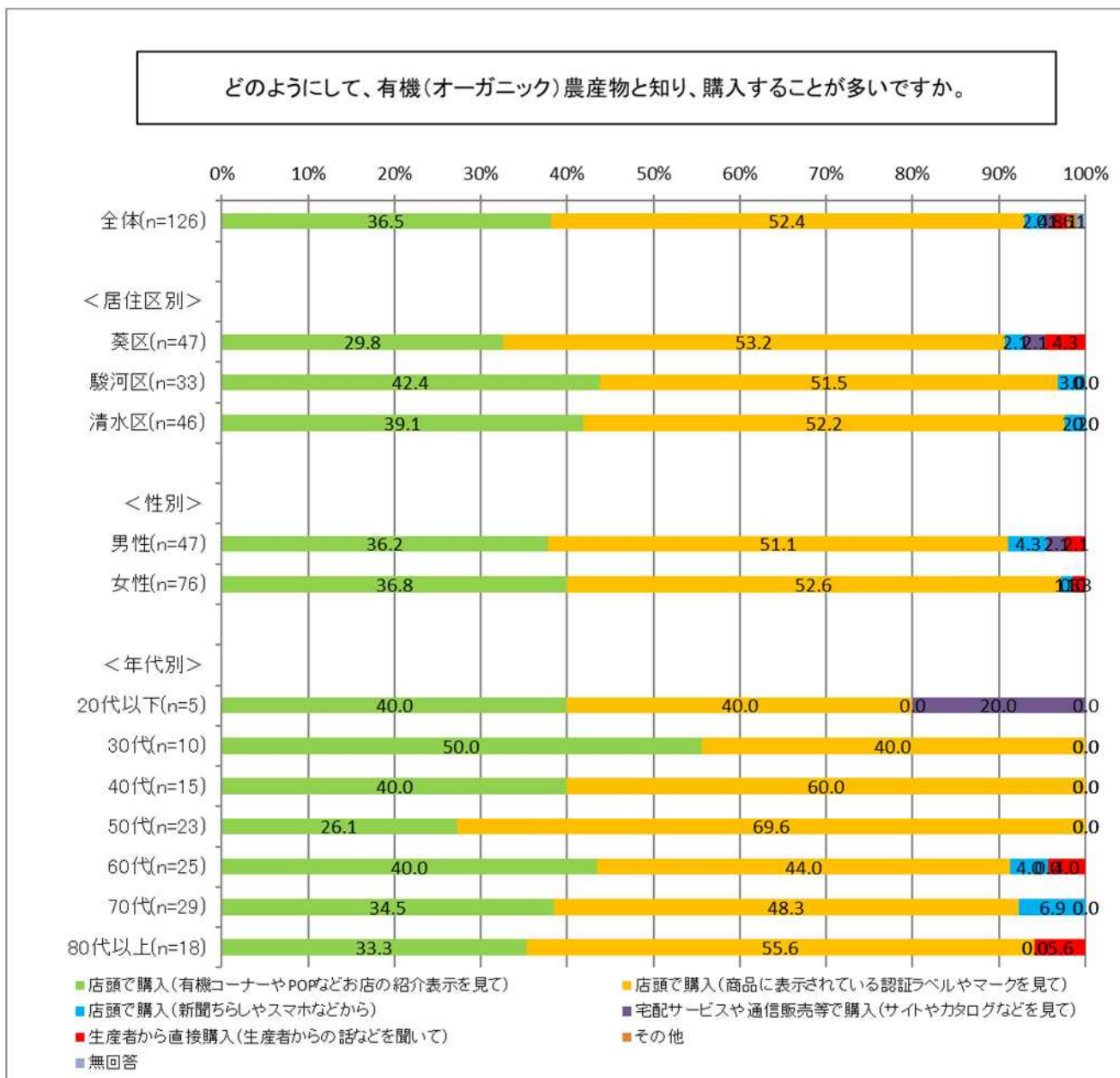
「あまり選んでいない（1年間に数回ほど）」37.0%と最も多く、「全く選んでいない」30.0%、「たまに選んでいる（1箇月に数回ほど）」28.3%、「いつも選んでいる」3.3%となっています。



問13 【問12で「1.2」と回答した方にお伺いします。】

どのようにして、有機（オーガニック）農産物と知り、購入することが多いですか。
（番号に一つだけ○をつけてください。）

「店頭で購入（商品に表示されている認証ラベルやマークを見て）」52.4%と最も多く、「店頭で購入（有機コーナーやPOPなどお店の紹介表示を見て）」36.5%、「宅配サービスや通信販売等で購入（サイトやカタログなどを見て）」5.6%、「生産者から直接購入（生産者からの話などを聞いて）」2.4%、「店頭で購入（新聞ちらしやスマホなどから）」0.8%となっています。

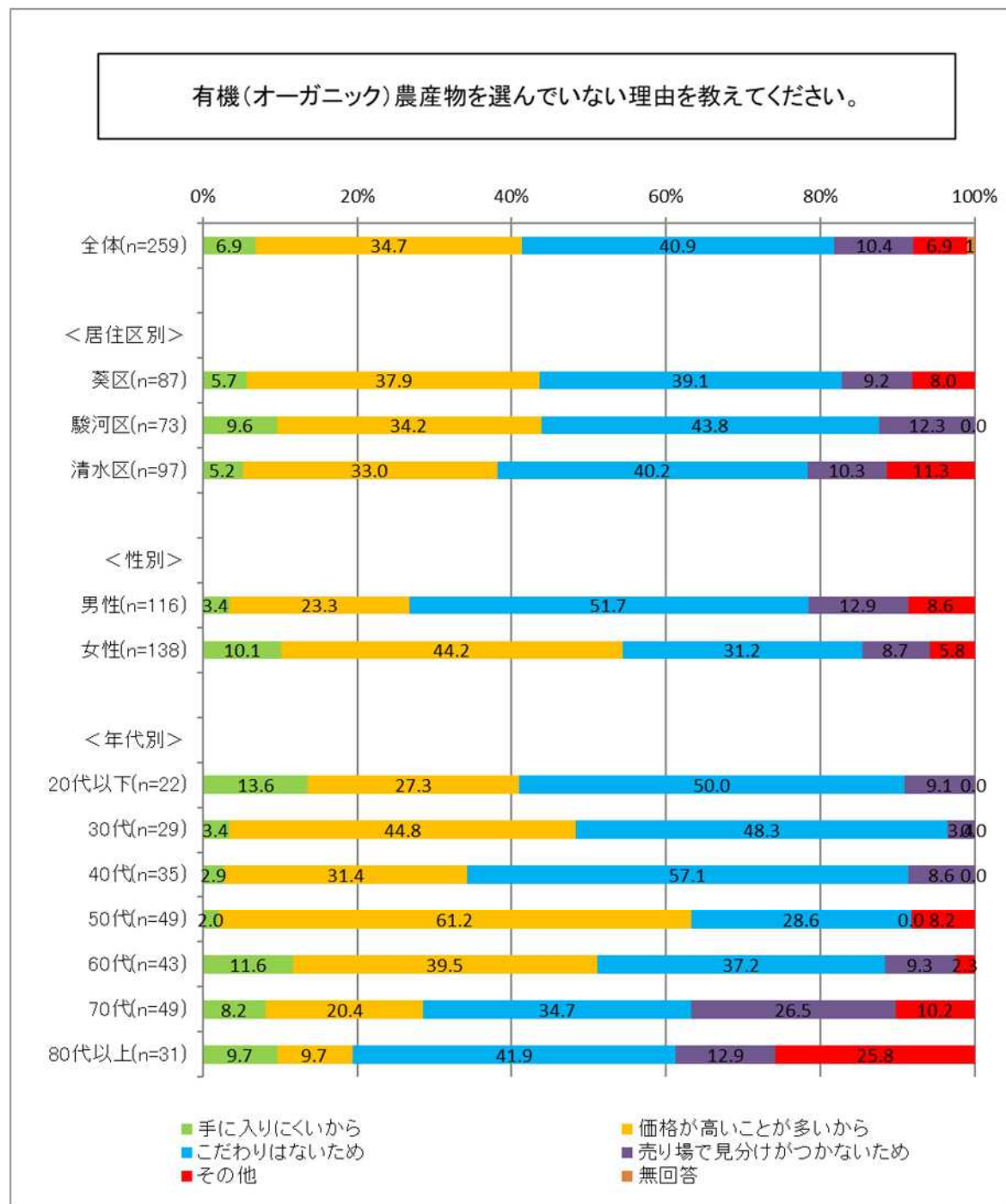


問14 【問12で「3. 4」と回答した方にお伺いします。】

有機（オーガニック）農産物を選んでいない理由を教えてください。

（番号に一つだけ○をつけてください。）

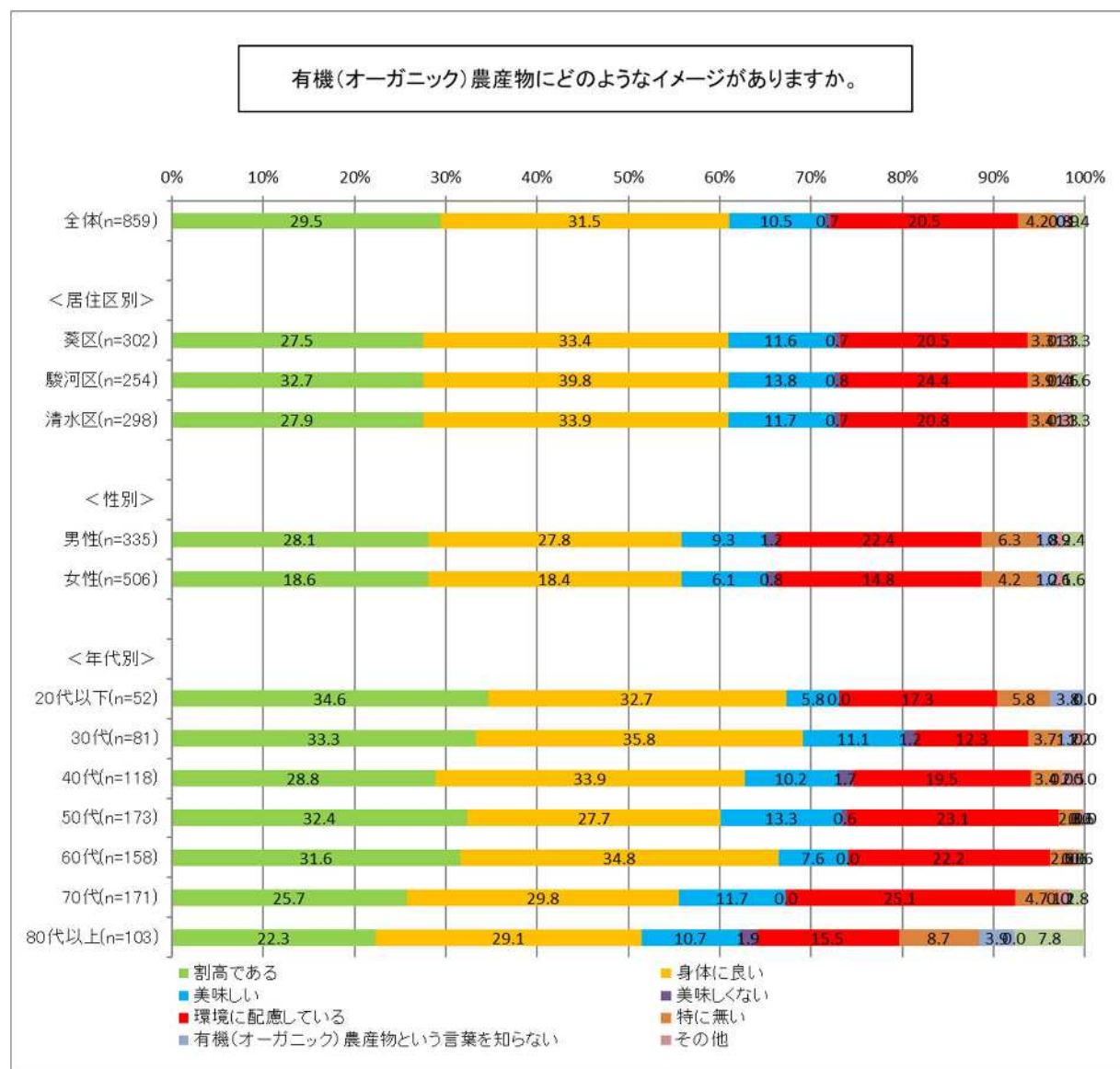
「こだわりはないため」40.9%と最も多く、「価格が高いことが多いから」34.7%、「売り場で見分けがつかないため」10.4%、「手に入りにくいから」6.9%となっています。



問15 有機（オーガニック）農産物にどのようなイメージがありますか。

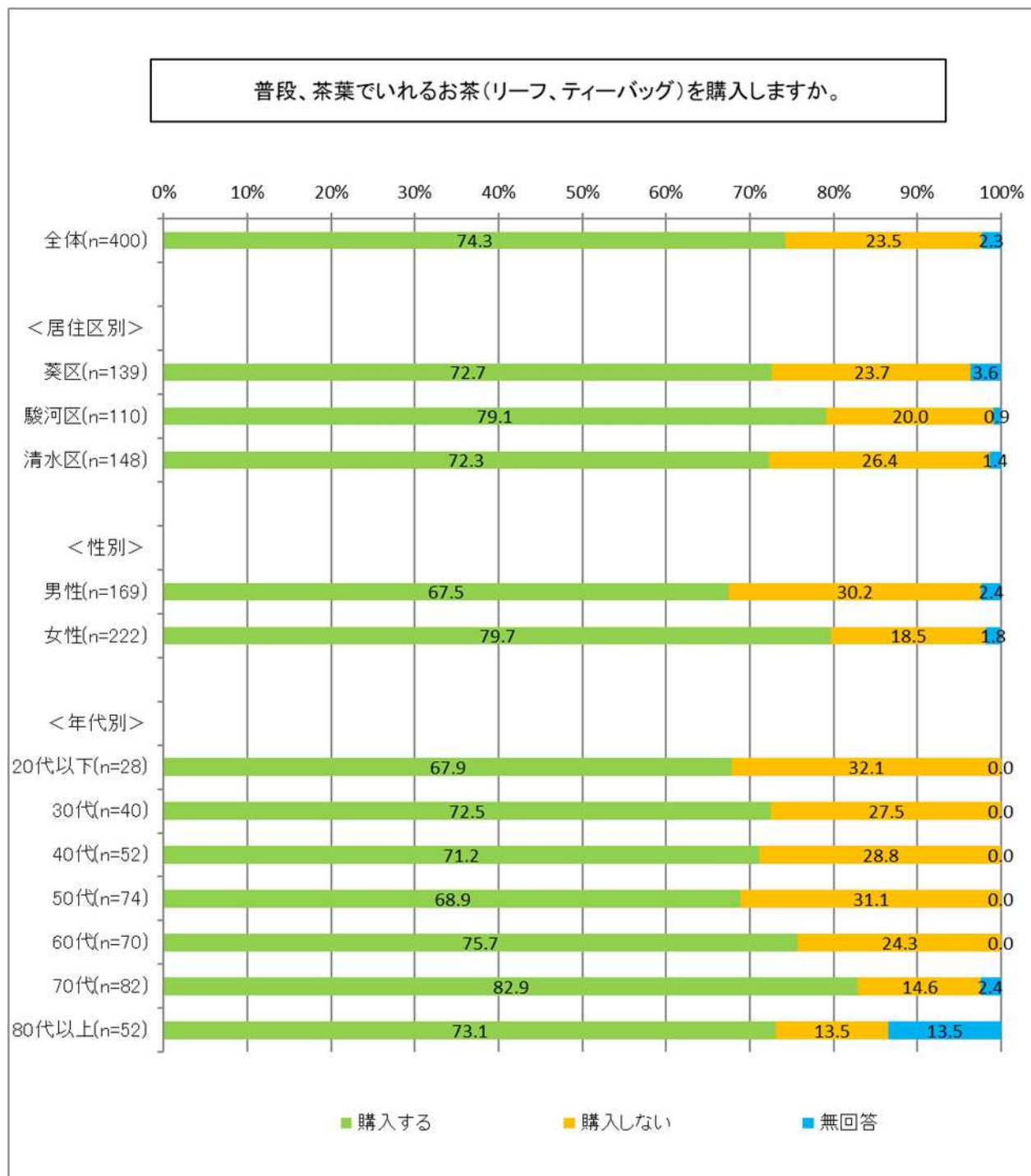
（番号にいくつでも○をつけてください。複数回答可）

「身体に良い」31.5%と最も多く、「割高である」29.5%、「環境に配慮している」20.5%、「美味しい」10.5%、「有機（オーガニック農産物）」という言葉を知らない」0.8%、「美味しくない」0.7%となっています。



問16 普段、茶葉でいれるお茶（リーフ、ティーバッグ）を購入しますか。

「購入する」74.3%、「購入しない」23.5%となっています。

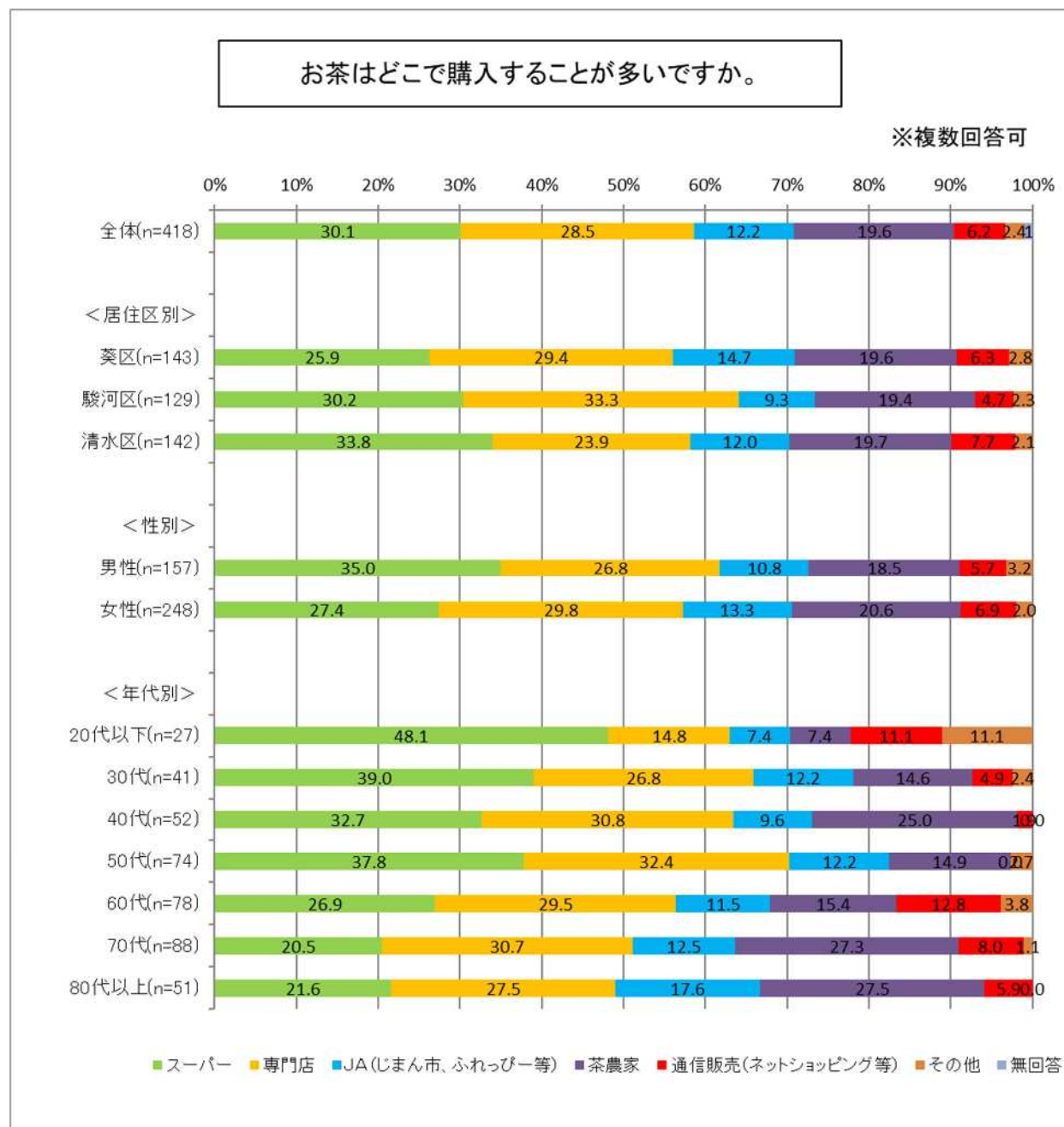


問１７ 【問１６で「１」と回答した方にお伺いします。】

お茶はどこで購入することが多いですか。

(番号にいくつでも○をつけてください。複数回答可)

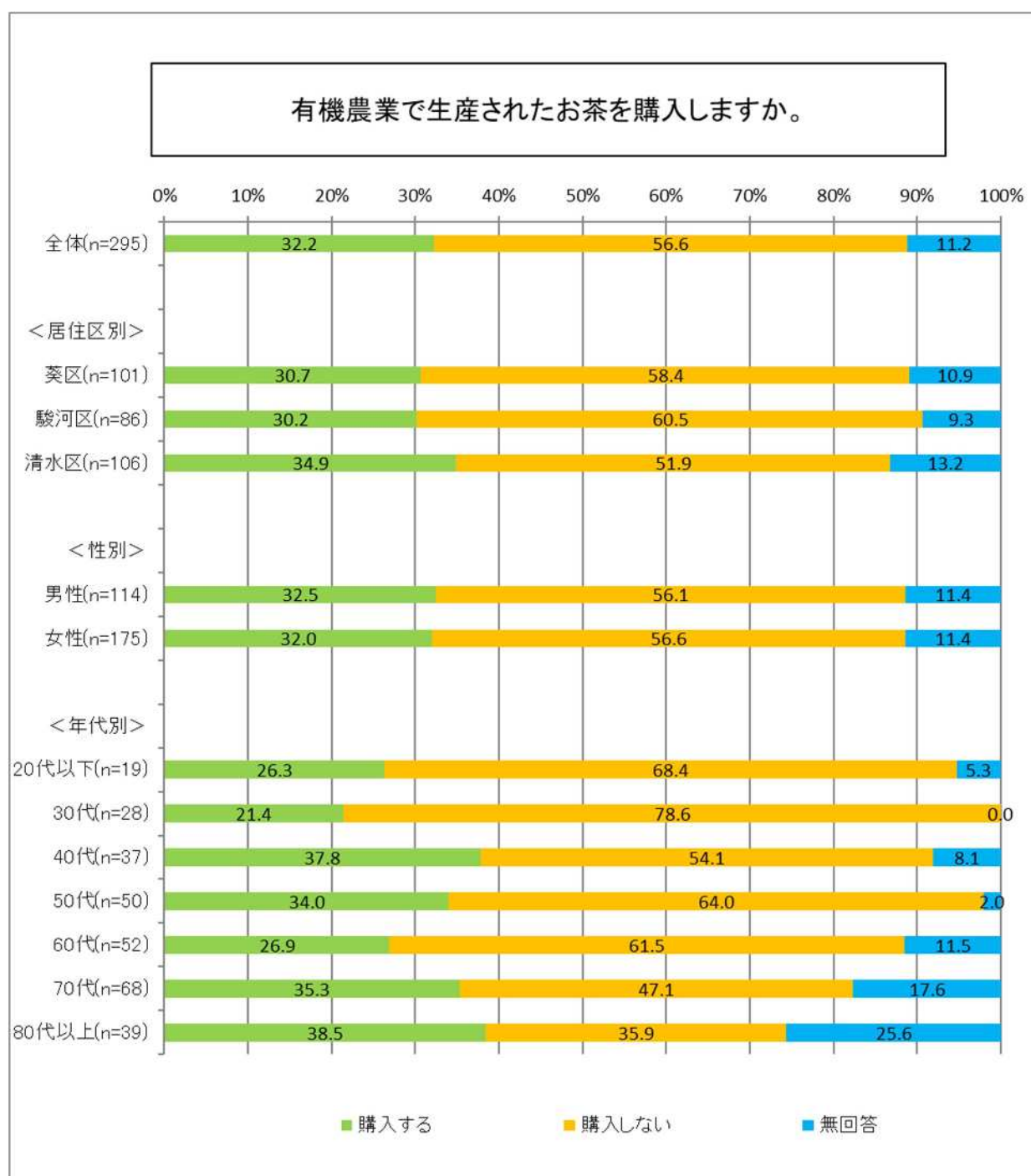
「スーパー」30.1%と最も多く、「専門店」28.5%、「茶農家」19.6%、「JA（じまん市、ふれっぴー等）」12.2%、「通信販売（ネットショッピング等）」6.2%となっています。



問18 【問16で「1」と回答した方にお伺いします。】

有機農業で生産されたお茶を購入しますか。

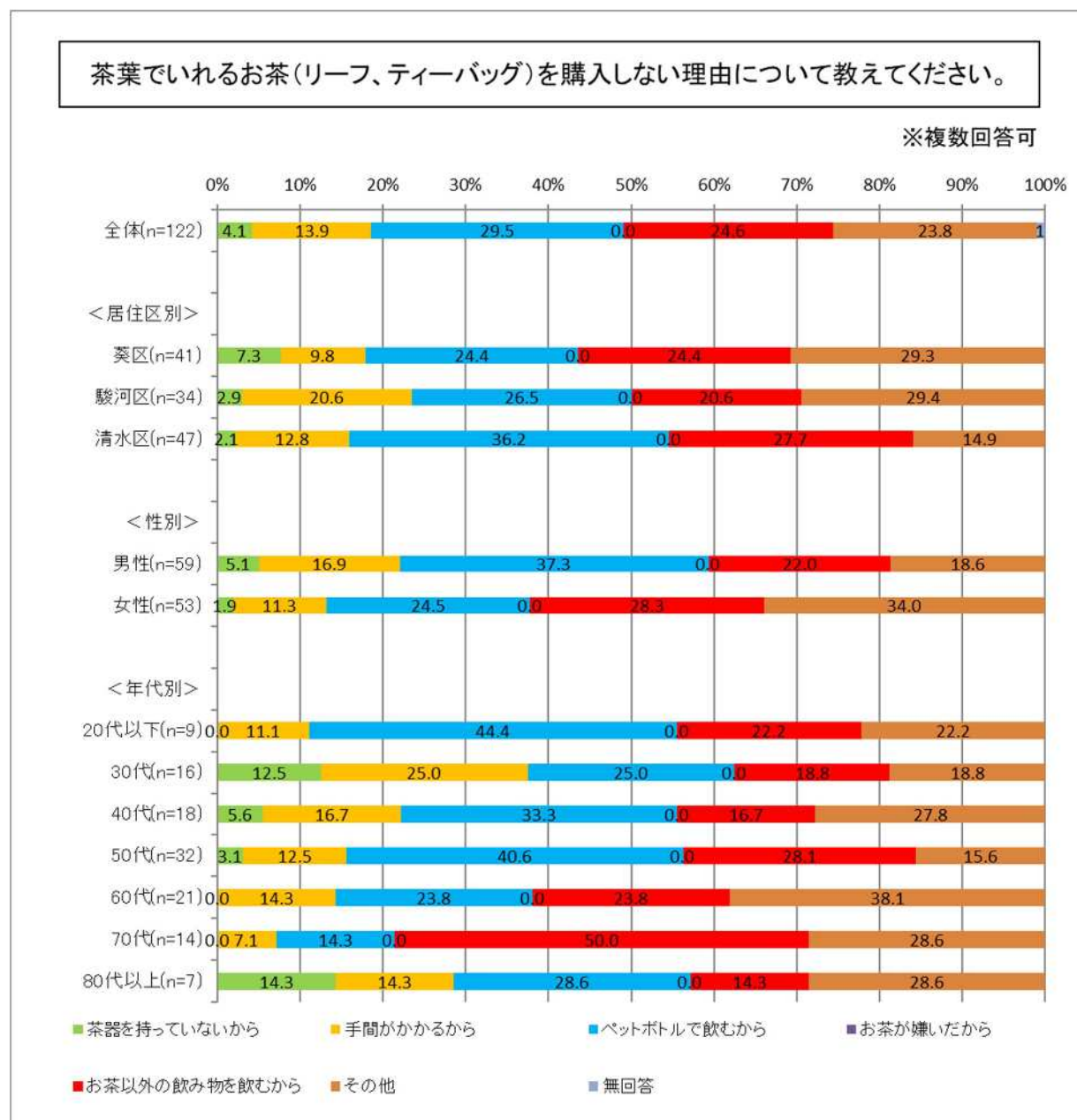
「購入しない」56.6%、「購入する」32.2%となっています。



問１９ 【問１６で「２」と回答した方にお伺いします。】

茶葉でいれるお茶（リーフ、ティーバッグ）を購入しない理由について教えてください。
（番号にいくつでも○をつけてください。複数回答可）

「ペットボトルで飲むから」29.5%と最も多く、「お茶以外の飲み物を飲むから」24.6%、「手間がかかるから」13.9%、「茶器を持っていないから」4.1%となっています。

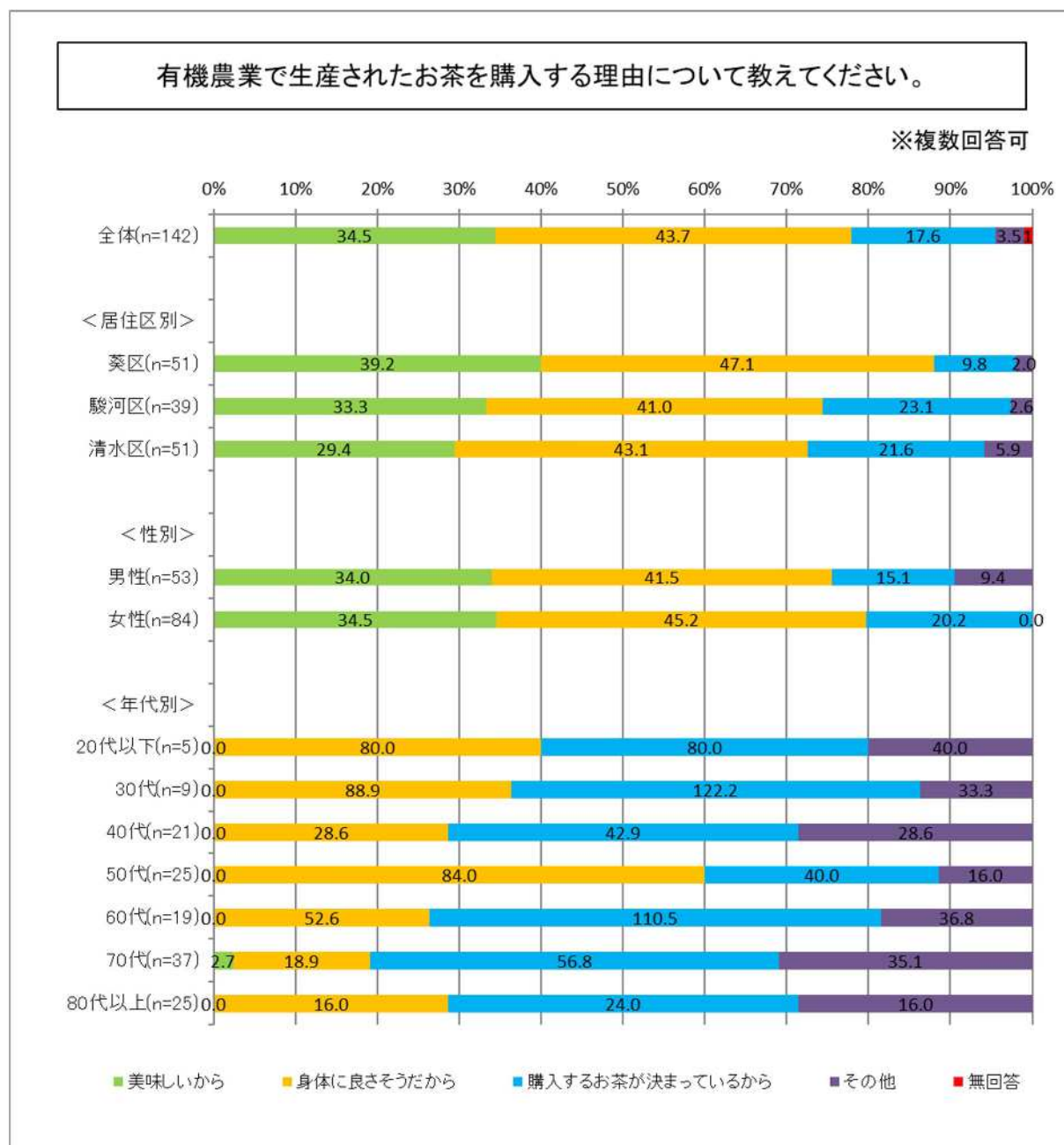


問20 【問18で「1」と回答した方にお伺いします。】

有機農業で生産されたお茶を購入する理由について教えてください。

(番号にいくつでも○をつけてください。複数回答可)

「身体に良さそうだから」43.7%と最も多く、「美味しいから」34.5%、「購入するお茶が決まっているから」17.6%となっています。



問21 【問18で「2」と回答した方にお伺いします。】

有機農業で生産されたお茶を購入しない理由について教えてください。

(番号にいくつでも○をつけてください。複数回答可)

「購入するお茶が決まっているから」34.2%と最も多く、「割高だから」25.5%、「購入できるお店が分からないから」16.0%、「飲んだことがないから」15.2%、「美味しくないから」0.4%となっています。

有機農業で生産されたお茶を購入しない理由について教えてください。

※複数回答可

